

労研式マスクフィッティングテスター MT-05U

OPERATION MANUAL**取扱説明書（通信ソフトウェア編）**

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。
- ご使用前にこの取扱説明書と添付の保証書を最後までお読みの上、安全に正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に保証書とともに大切に保管してください。

目 次

1	ご使用の前に.....	3	13	トレーニング.....	39
2	動作環境.....	4	13-1	トレーニングの設定.....	40
3	ソフトウェアのインストール.....	5	13-2	Start（トレーニング）.....	40
3-1	通信ソフトウェアのインストール.....	5	13-3	記録.....	41
3-1-1	Windows 7 の場合.....	5	14	次回測定期限リスト.....	42
3-1-2	Windows 10 の場合.....	8	15	被験者データ.....	43
3-2	USB Driver のインストール.....	11	15-1	被験者データのユーザー設定.....	45
3-2-1	Windows 7 の場合.....	11	16	マスクデータ.....	48
3-2-2	Windows 10 の場合.....	13	16-1	基準選択用ドロップダウンリスト...	50
3-2-3	PC と MT-05U の接続.....	15	17	プロトコル.....	51
4	通信ソフトウェアのアンインストール.....	15	18	各データの選択・作成・編集.....	53
4-1	Windows 7 の場合.....	15	18-1	保存ファイル.....	53
4-2	Windows 10 の場合.....	17	18-2	ファイル選択.....	55
5	通信ソフトウェアの使用方法.....	19	18-3	新規ファイル.....	56
6	通信ソフトウェアの起動.....	20	18-4	ファイルの削除.....	57
7	起動画面.....	21	18-5	データ選択.....	57
8	接続.....	22	18-6	データの削除.....	58
9	デイリーチェック.....	23	18-7	ファイル作成.....	59
9-1	デイリーチェックデータ.....	24	19	ログデータについて.....	60
9-2	Start（デイリーチェック）.....	25	19-1	ログデータ.....	60
9-3	やり直し.....	26	19-2	ログデータの読込.....	60
9-4	再測定.....	26	19-3	全ログデータの削除.....	61
10	フィットテスト.....	27	20	印刷.....	62
10-1	機体識別番号.....	28	20-1	レポート印刷設定.....	62
10-2	Start（フィットテスト）.....	28	20-2	印刷方法.....	63
10-3	新規測定.....	29	21	トラブルシューティング.....	64
10-4	再測定.....	29	22	保証と修理など.....	65
10-5	レポート印刷 / プレビュー.....	29			
11	フィットテストレポート.....	30			
11-1	フィットテストデータ.....	31			
11-2	フィットテストログデータ.....	32			
11-3	測定日.....	33			
11-4	次回測定期限.....	33			
11-5	更新.....	34			
12	フィットチェック.....	35			
12-1	フィットチェックデータ.....	36			
12-2	Start（フィットチェック）.....	37			
12-3	新規測定.....	38			
12-4	再測定.....	38			

1 ご使用の前に

本ソフトウェアをご使用前に、以下をお読みください。

本取扱説明書は以下のバージョン以降で動作する機能について記します。旧バージョンが混在すると正常に動作できなくなりますのでご注意ください。

SYSTEM VERSION 2.00

FIRMWARE VERSION 2.00

SIBATA Fit Test Software 2.00

MT-05U 本体の操作・測定手順・設定等につきましては「MT-05U 取扱説明書（本体編）」をお読みください。

MT-05 用ソフトウェアご使用に際して

ご注意

本ソフトウェアはお客様が本使用許諾契約の内容にすべて同意される場合にかぎり、お客様が本ソフトウェアを使用できるものといたします。インストールすると本使用許諾に同意したものと判断いたします。インストール開始前に本使用許諾契約をよくお読みください。

お客様が本使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアは使用できないものとします。この場合は、柴田科学株式会社または販売代理店に本ソフトウェア（セット品については全て）をご返却ください。

事前注意事項

本ソフトウェアのインストール、初期起動操作及びお客様のご使用のパーソナルコンピュータに関わる設定はお客様ご自身で実行してください。当社及び販売代理店では、本ソフトウェアに関わるお客様のパーソナルコンピュータを直接操作することを禁じています。

（ハードディスクの大容量化のため、設定等に関わる操作を当社または販売代理店の担当がおこない、万一事故が発生した場合にハードディスク保存内容の保証問題に発展します。本件に関わる事故を防ぐためにもインストール作業、及び設定変更は必ずお客様側でおこなってください。）

インストール方法、操作方法が不明な場合はパーソナルコンピュータ、MT-05U の取扱説明書、または本ソフトウェアの取扱説明書の該当部分をお読みください。

使用許諾契約及び保証

許可事項

- ・ インストール用 CD-ROM 内の本ソフトウェアまた関連添付ファイルを 1 式だけ、1 台のコンピュータで使用する。
- ・ 本ソフトウェアのコピーをバックアップの目的で 1 つだけ作成すること。または本ソフトウェアをコンピュータのハードディスクにコピーし、オリジナルの磁気媒体をバックアップの目的で保管すること。

禁止事項

- ・ 本ソフトウェアに付属している取扱説明書などの文書の複写及び、配布をおこなうこと。
- ・ 本ソフトウェアの一部または全部に関して、その使用权を再設定すること。
- ・ 本ソフトウェアのソースコードを調べたり、本ソフトウェアを模倣した製品を作る目的でリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳をおこなうこと。
- ・ 本ソフトウェアのバージョンアップ用の磁気媒体または以前のバージョンとそっくり置き換えられる新バージョンを受け取った場合に、その後も本ソフトウェアの以前のバージョンまたはコピーを使用すること。

保証

- ・ 本ソフトウェアの機能には不具合が無いことを充分検証していますが、全てのパーソナルコンピュータ及び周辺機器で動作できる環境に即していない場合が考えられます。この場合、柴田科学株式会社は適応できる範囲内での不具合を改善した代品を提供いたします。（動作 OS に依存するものについては対応できかねます）
- ・ 本書はお客様が本ソフトウェアに必ずや満足されることを保証するものではありません。また本ソフトウェアの内容にまったく誤りがないことを保証するものでもありません。

損害賠償

- ・ 本使用許諾契約及び保証書補償条項の対象如何に関わらず、柴田科学株式会社は、特定の損害、間接損害、その他本ソフトウェアのインストール、また操作による一切の責任を負いません。具体的な損害として、本ソフトウェアの使用によって、お客様が何らかの利益を受け損なったり、データが消失してしまった場合や、本ソフトウェアが使用不能になったりした場合も含まれます。そのような損害が生じる可能性について柴田科学株式会社が以前から警告していたとしても、損害に対する責任を柴田科学株式会社が負うことはありません。
- ・ どんな場合にせよ、柴田科学株式会社の賠償責任が、本ソフトウェアのご購入代金を超えることはありません。
- ・ 上記の責任限定、免除規定は、お客様が本ソフトウェアを返品するか否かに関わらず適用されます。

2 動作環境

動作オペレーティングシステム （以下 OS）	Windows 7 （32 bit, 64 bit） Windows 8.1 （32 bit, 64 bit） Windows 10 （32 bit, 64 bit） Windows は Microsoft 社の登録商標です。
パーソナルコンピュータ （以下 PC）	上記 OS が動作する PC。
ディスクドライブ	CD-ROM ドライブ 1 基（インストール時）。
通信用ポート	USB A コネクタ、1 ポート。 コンピュータ上で本機能が正常に動作していること。
その他周辺機器（プリンター等）	上記 OS 下で完全に動作が確認されているもの。

使用 PC、及び周辺機器につきましては、一般的な機材で動作を確認していますが、一部機種におきましては正常に動作しない場合もあります。

- **USB Driver をインストールする前に MT-05U を PC と接続しないでください。**
- **必ず USB Driver インストール終了後に MT-05U を接続してご使用ください。**
- **本仕様は特性、機能に影響のない範囲で予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。**

3 ソフトウェアのインストール

3-1 通信ソフトウェアのインストール

使用される OS により作業時に「管理者権限」が必要な場合があります。

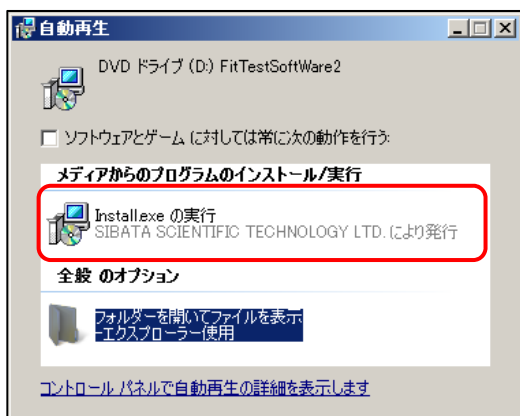
PC の CD ドライブに本ソフトウェアの CD-ROM を入れると、自動的にインストールが実行されますが、お手持ちの PC の設定等で自動的に実行されない場合は、次の手順でインストールを実行してください。

通信ソフトウェアの再インストール、バージョンアップの際にはアンインストール（削除）する必要があります。（4 通信ソフトウェアのアンインストール 参照）

3-1-1 Windows 7 の場合

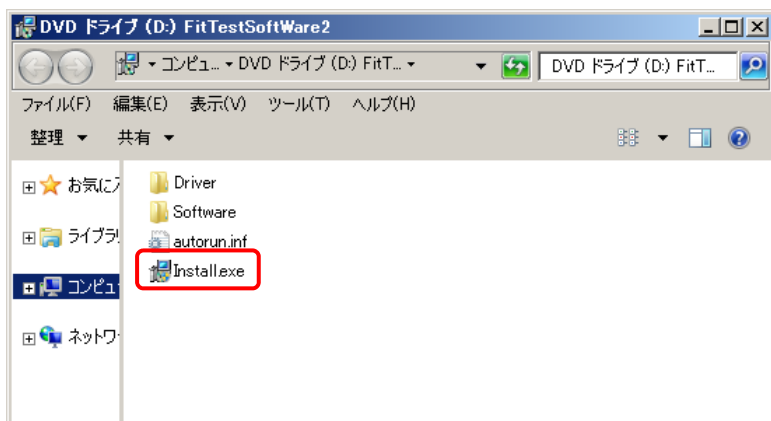
- PC の設定及び他の OS では画面が変わることがあります。

PC の CD ドライブに本ソフトウェアの CD-ROM を入れ、「Install.exe の実行」をクリックします。



- 自動再生画面が出ない場合は以下の操作をしてください。

エクスプローラで CD-ROM を入れたドライブを開いて、「Install.exe」をダブルクリックしてください。

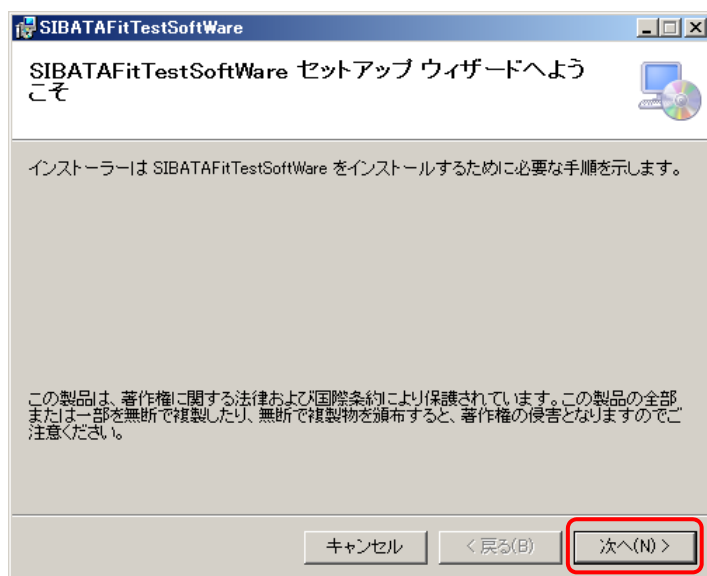


途中で「ユーザーアカウント制御」の画面が出た場合は、発行元が「SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.」であることを確認して「はい (Y)」をクリックしてそのままインストールを続行してください。インストールプログラムが起動します。

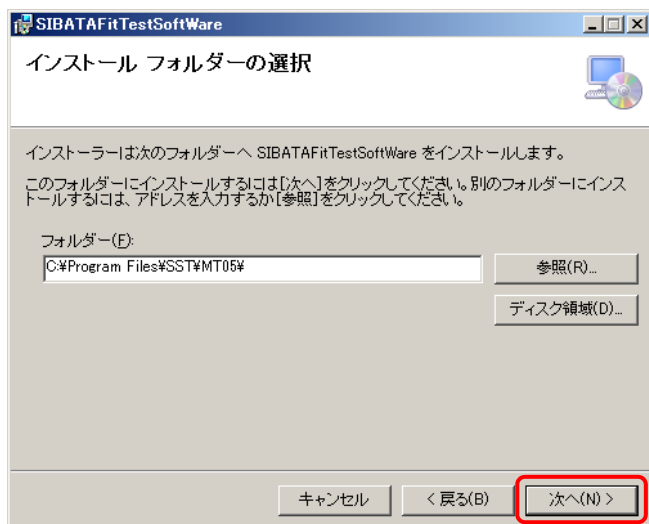
[通信ソフトウェア] をクリックします。



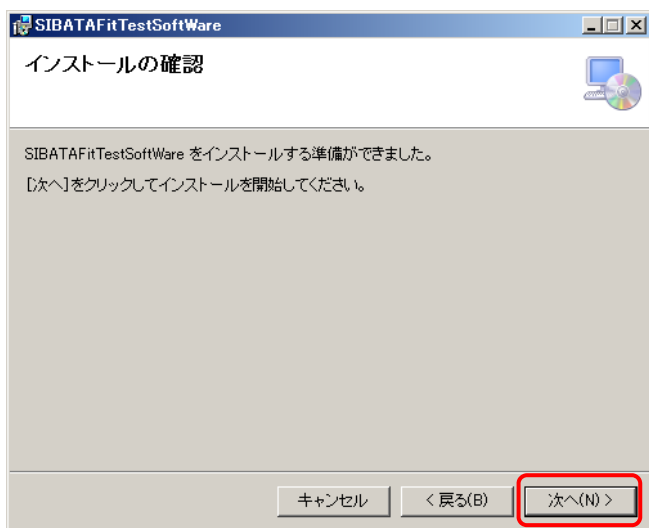
インストールの準備が始まります。[次へ (N) >] をクリックしてください。



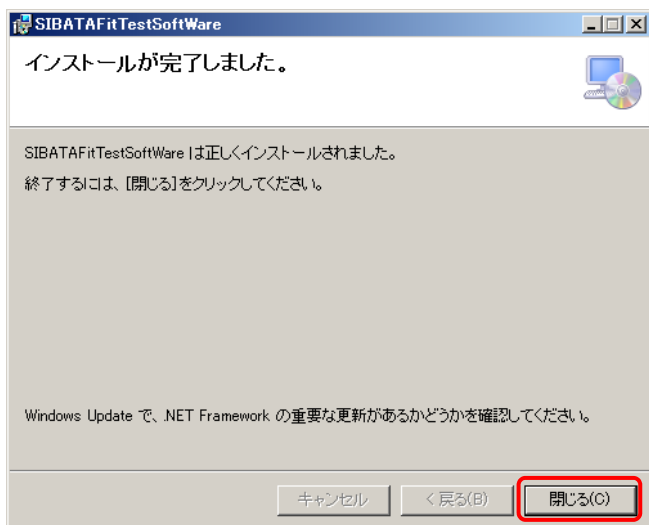
インストール先を変更する場合は「参照 (R) ...」をクリックして、フォルダを指定してください。
変更しない場合は「次へ (N) >」をクリックします。



確認画面が出ますので再度「次へ (N) >」をクリックし、インストールを開始します。



この画面がでたらインストールが終わりですので「閉じる (C)」をクリックしてください。



- **USB Driver をインストールする前に MT-05U を PC と接続しないでください。**
- **必ず USB Driver のインストール終了後に MT-05U を接続してご使用ください。**

3-1-2 Windows 10 の場合

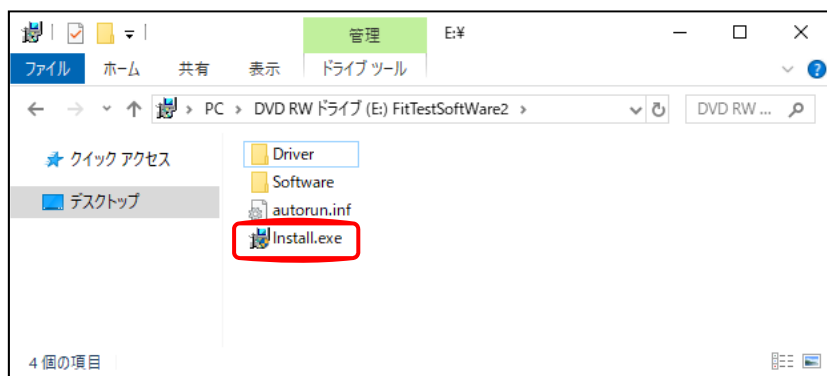
- PC の設定及び他の OS では画面が変わることがあります。

PC の CD ドライブに本ソフトウェアの CD-ROM を入れ、「Install.exe の実行」をクリックします。



- 自動再生画面が出ない場合は以下の操作をしてください。

エクスプローラで CD-ROM を入れたドライブを開いて、「Install.exe」をダブルクリックしてください。

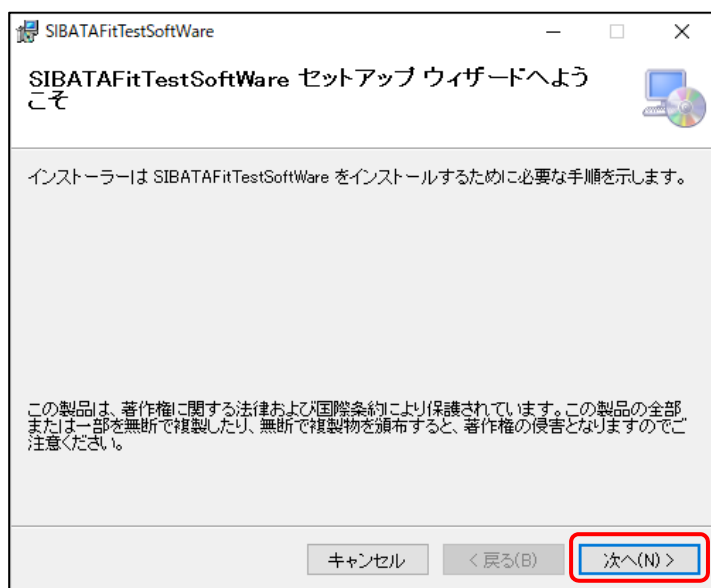


途中で「ユーザーアカウント制御」の画面が出た場合は、発行元が「SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.」であることを確認して [はい (Y)] をクリックしてそのままインストールを続行してください。インストールプログラムが起動します。

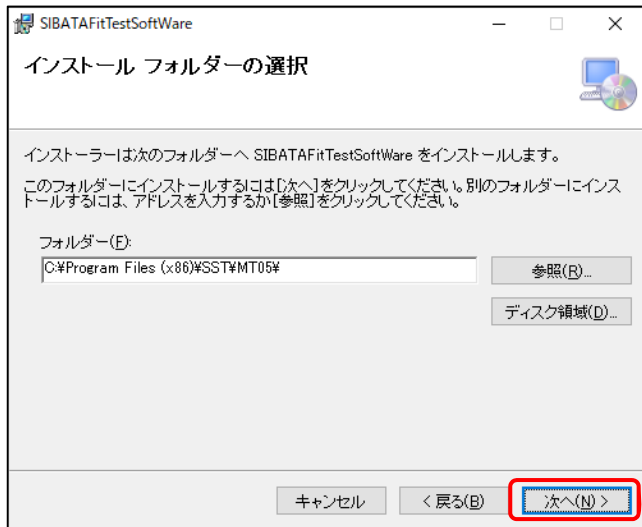
[通信ソフトウェア] をクリックします。



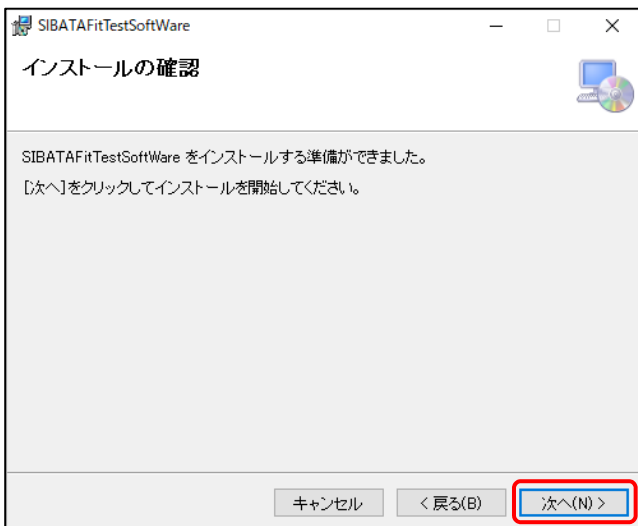
インストールの準備が始まります。[次へ (N) >] をクリックしてください。



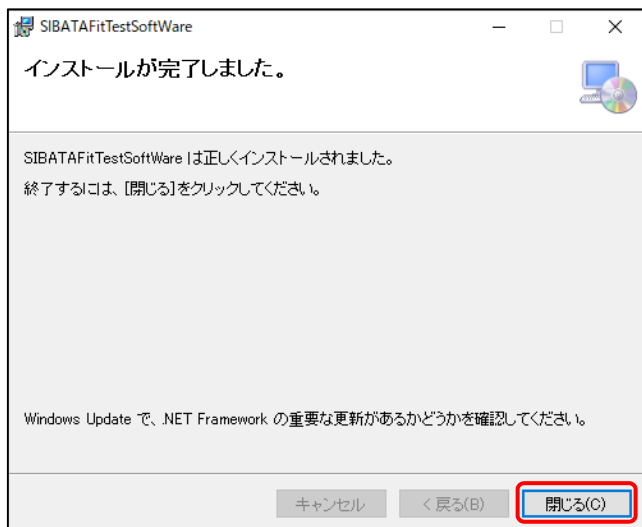
インストール先を変更する場合は「参照 (R) ...」をクリックして、フォルダを指定してください。
変更しない場合は「次へ (N) >」をクリックします。



確認画面が出ますので再度「次へ (N) >」をクリックし、インストールを開始します。



この画面がでたらインストールが終わりですので「閉じる (C)」をクリックしてください。



- USB Driver をインストールする前に MT-05U を PC と接続しないでください。
- 必ず USB Driver のインストール終了後に MT-05U を接続してご使用ください。

3-2 USB Driver のインストール

MT-05U は USB インターフェースを備えています。USB インターフェースを介して通信が可能になります。この機能を使用するためには USB Driver を PC にインストールする必要があります。一度インストールすれば、二度目以降はインターフェースを意識することなく使用することができます。

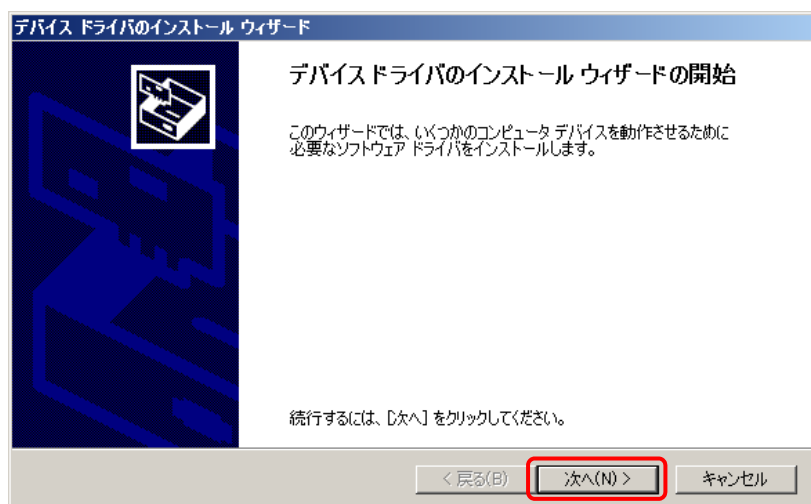
3-2-1 Windows 7 の場合

- PC の設定で画面が変わることがあります。

インストールプログラムの [USB Driver] をクリックします。



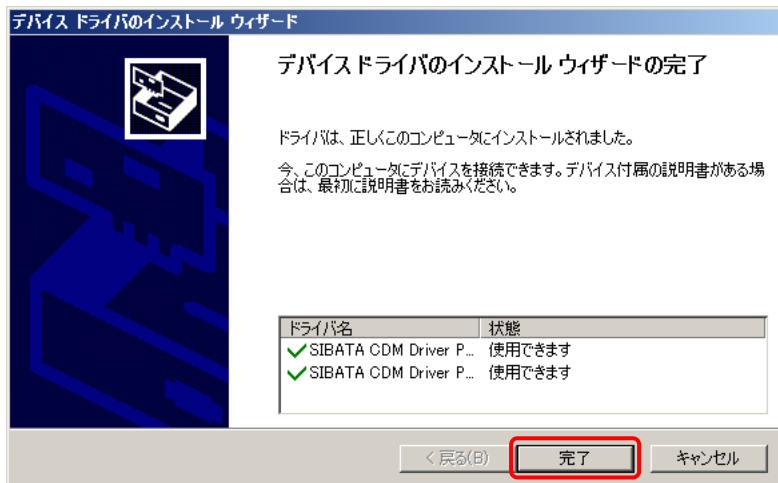
[次へ (N) >] をクリックします。



USB Driver のインストールが始まります。

途中でセキュリティの確認画面が出た場合は、発行元が「SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.」であることを確認し、[インストール] をクリックしてください。

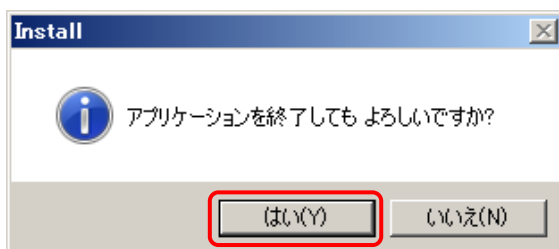
次の画面が出るとインストールは完了です。[完了] をクリックします。



[終了] をクリックします。



[はい (Y)] をクリックしてインストールプログラムを終了します。



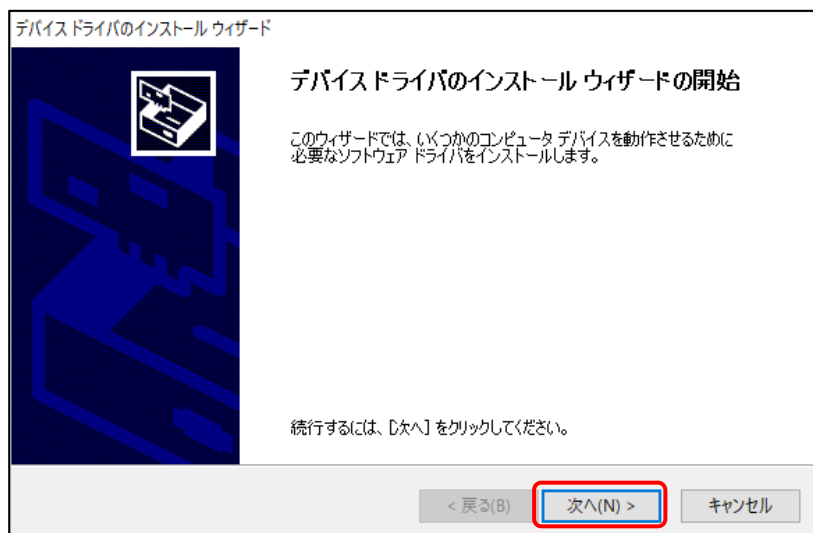
3-2-2 Windows 10 の場合

- PC の設定で画面が変わることがあります。

インストールプログラムの [USB Driver] をクリックします。



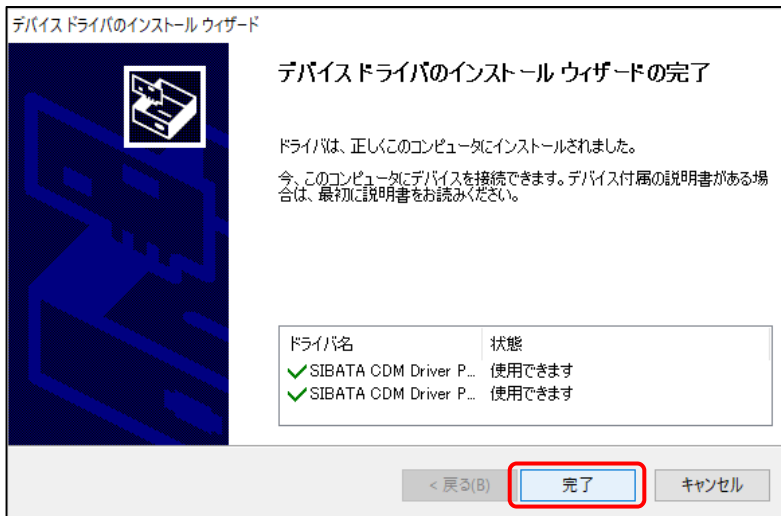
[次へ (N) >] をクリックします。



USB Driver のインストールが始まります。

途中でセキュリティの確認画面が出た場合は、発行元が「SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.」であることを確認し、[インストール] をクリックしてください。

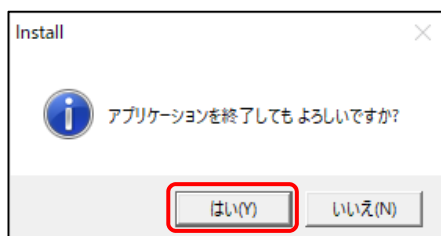
次の画面が出るとインストールは完了です。[完了] をクリックします。



[終了] をクリックします。



[はい (Y)] をクリックしてインストールプログラムを終了します。



3-2-3 PC と MT-05U の接続

MT-05U の電源を入れ、PC と MT-05U を付属の USB ケーブルで接続します。
PC に下の画面アイコンが出たらインストールは完了です。



4 通信ソフトウェアのアンインストール

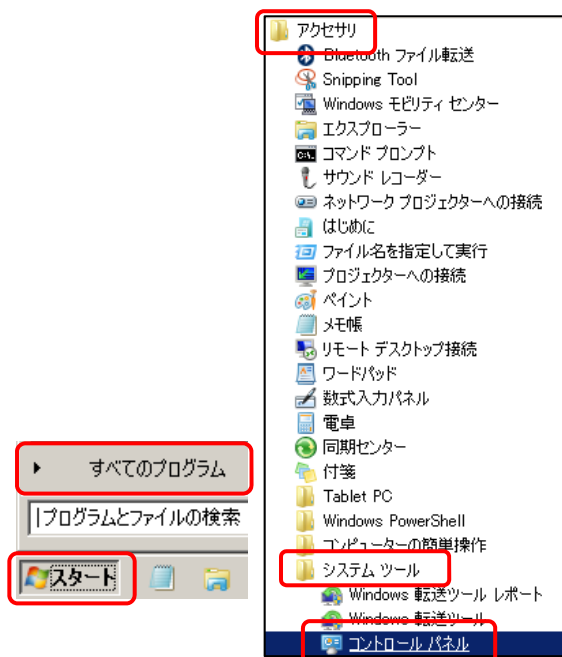
通信ソフトウェアの再インストール、バージョンアップなどの理由で、アンインストール（削除）する必要がある場合は、次の方法でおこなってください。

4-1 Windows 7 の場合

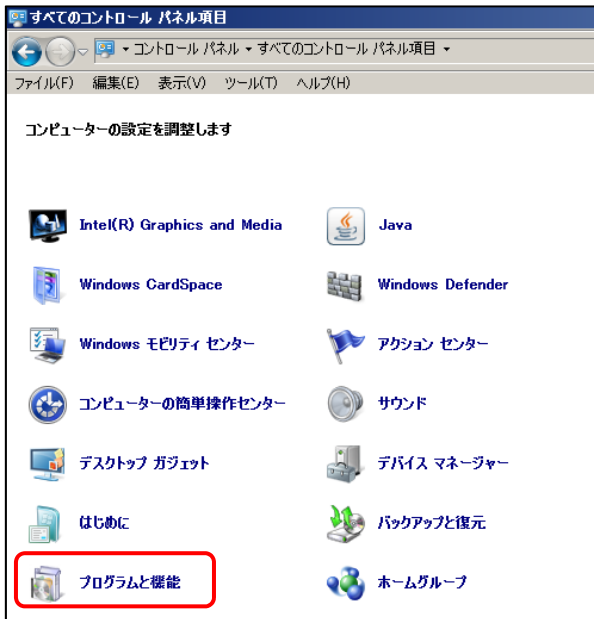
PC の設定で画面、名称等が変わることがあります。

通信ソフトウェアのアンインストールは「プログラムと機能」でおこないます。

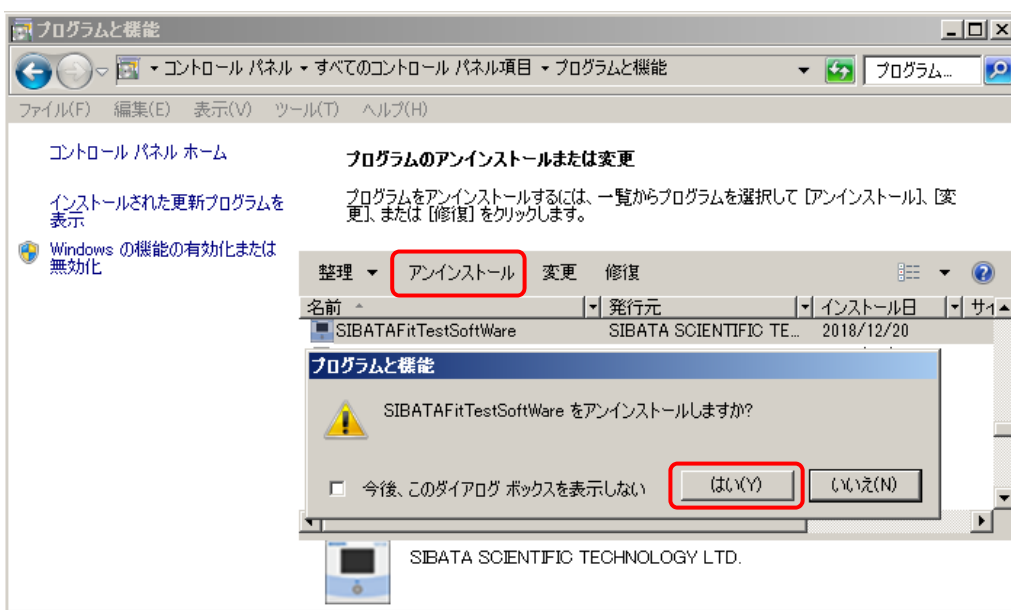
[スタート] をクリックし、スタートメニューを開き、「すべてのプログラム」から [アクセサリ]、[システムツール]、[コントロールパネル] とクリックし、コントロールパネルを開きます。



「プログラムと機能」をクリックし、「プログラムと機能」を開きます。



「SIBATAFitTestSoftware」を選択して「アンインストール」をクリックします。
プログラム名を確認して「はい (Y)」をクリックします。
以上で通信ソフトウェアのアンインストールは終了です。



- USB Driver のアンインストールは、他のソフトウェアに不具合を生じる可能性があるため、おこなわないでください。

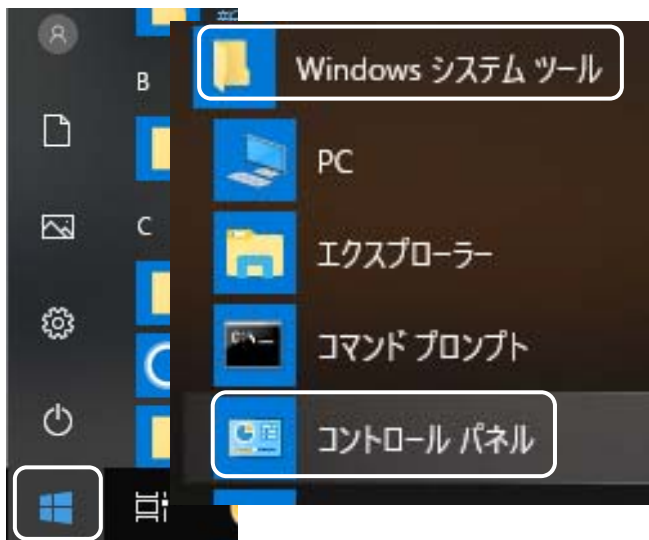
4-2 Windows 10 の場合

以下に Windows 10 の例を記載します。

PC の設定及び他の OS では画面、名称等が変わることがあります。

通信ソフトウェアのアンインストールは「プログラムと機能」でおこないます。

[スタート] をクリックし、すべてのアプリの中から [Windows システムツール]、[コントロールパネル] とクリックし、「コントロールパネル」を開きます。



[プログラムのアンインストール] をクリックし、「プログラムと機能」を開きます。



一覧から「SIBATAFitTestSoftware」を選択して「アンインストール」をクリックします。
プログラム名を確認して「はい (Y)」をクリックします。
以上で通信ソフトウェアのアンインストールは終了です。



- USB Driver のアンインストールは、他のソフトウェアに不具合を生じる可能性があるため、おこなわないでください。

5 通信ソフトウェアの使用方法

MT-05U 本体の操作・測定手順・設定内容等につきましては「MT-05U 取扱説明書（本体編）」をお読みください。

本通信ソフトウェアは、MT-05U 内部のロギングデータを USB ケーブルで PC に接続してデータを一括取得し、編集、印刷をおこなったり、PC から MT-05U を操作して測定をおこなったりすることができる通信ソフトウェアです。

本通信ソフトウェアからの操作は、同時に 4 台まで可能です。

作成または取得したデータはグループに分けて PC 内部にファイル保存されます。

グループ（PC 内保存）	データ名	ファイル名
フィットテストレポートデータ	フィットテスト測定結果データ	FTL_*.csv
被験者データ	被験者データ	PTL_*.csv
マスクデータ	マスクデータ	RTL_*.csv
デイリーチェックデータ	デイリーチェック測定結果データ 取得済みデイリーチェックロギングデータ	DCL_*.csv
フィットテストログデータ	取得済みフィットテストロギングデータ	TLD_*.csv
フィットチェックデータ	フィットチェック測定結果データ 取得済みフィットチェックロギングデータ	FCL_*.csv
上記 6 ファイルの初期保存フォルダは、以下のいずれかになります。 Windows（C:）¥Documents and Settings¥All Users¥SST¥MT05¥DATA Windows（C:）¥ProgramData¥SST¥MT05¥DATA Windows（C:）¥Users¥All Users¥SST¥MT05¥DATA ●隠しフォルダになっている可能性があります。 ●PC の設定及び他の OS では各フォルダ名称が変わることがあります。		
次回測定期限データ	次回測定期限のリスト表示データ	*.csv
フィットテストデータ	フィットテストデータのリスト表示データ	*.csv
フィットチェック編集データ	フィットチェックデータ画面で編集したデータ	*.csv
トレーニングログデータ	トレーニング測定のログデータ	*.csv
上記 4 ファイルの初期保存フォルダは、以下の場所になります。 Windows（C:）¥Users¥ユーザー名¥Documents¥SST ●PC の設定及び他の OS では各フォルダ名称が変わることがあります。 ●ユーザー名は PC の設定により異なります。		

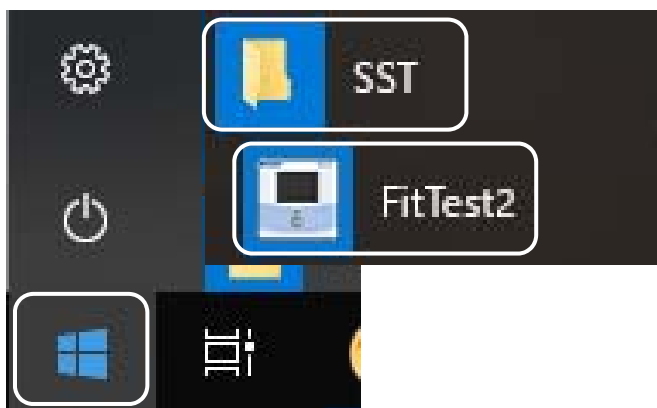
6 通信ソフトウェアの起動

MT-05U の電源を入れ、PC と MT-05U を付属の USB ケーブルで接続します。

以下のように本通信ソフトウェアを起動します。

Windows 10 の例を記載します。

[スタート] → [すべてのアプリ] → [SST] → [FitTest2]



PC の設定及び他の OS では各フォルダ名称が変わることがあります。

上記方法で“FitTest2”がない場合には次の方法でプログラムを**起動**します。

インストール時にインストール先を変更しなかった場合、実行プログラムは以下の場所にあります。

OS が 32 bit の場合

Windows (C:) ¥Program Files¥SST¥MT05

OS が 64 bit の場合

Windows (C:) ¥Program Files(x86)¥SST¥MT05

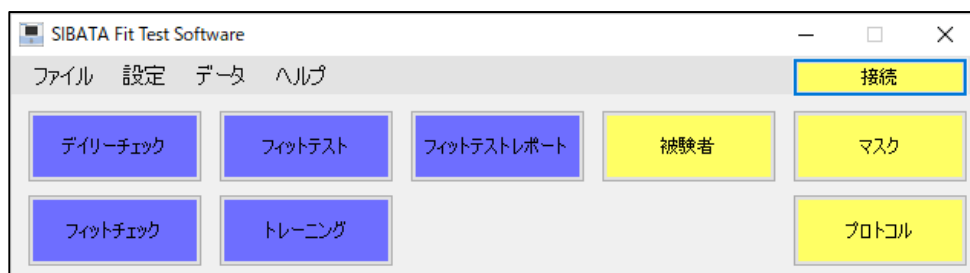
“SIBATAFitTestSoftware2.exe” をダブルクリックして起動してください。

インストール時にインストール先を変更した場合は、指定したインストール先の

“SIBATAFitTestSoftware2.exe” をダブルクリックして起動してください。

- 初回起動時は [接続] のみが使用可能です。「8 接続」をご参照ください。

7 起動画面



メニューバーの説明

ファイル	コンバート	他社フィットテスターで作成したデータを MT-05U のデータ書式に変換をおこないます。 ● 製品により変換できないものもあります。
	閉じる	本通信ソフトウェアを終了します。
設定	被験者データ設定	被験者データのユーザー設定画面を開きます。 「15-1 被験者データのユーザー設定」参照
	レポート印刷設定	フィットテストレポート／カードへの表示内容の設定をおこないます。「20-1 レポート印刷設定」参照
	言語	言語の切り替えをおこないます。
データ	次回測定期限リスト	次回測定期限リスト画面を開きます。 「14 次回測定期限リスト」参照
	フィットテストレポート	フィットテストレポート画面を開きます。 「11 フィットテストレポート」参照
	フィットテストデータ	フィットテストデータ画面を開きます。 「11-1 フィットテストデータ」参照
	デイリーチェックデータ	デイリーチェックデータ画面を開きます。 「9-1 デイリーチェックデータ」参照
	フィットチェックデータ	フィットチェックデータ画面を開きます。 「12-1 フィットチェックデータ」参照
	被験者データ	被験者データ画面を開きます。 「15 被験者データ」参照
	マスクデータ	マスクデータ画面を開きます。 「16 マスクデータ」参照
ヘルプ	バージョン	本通信ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

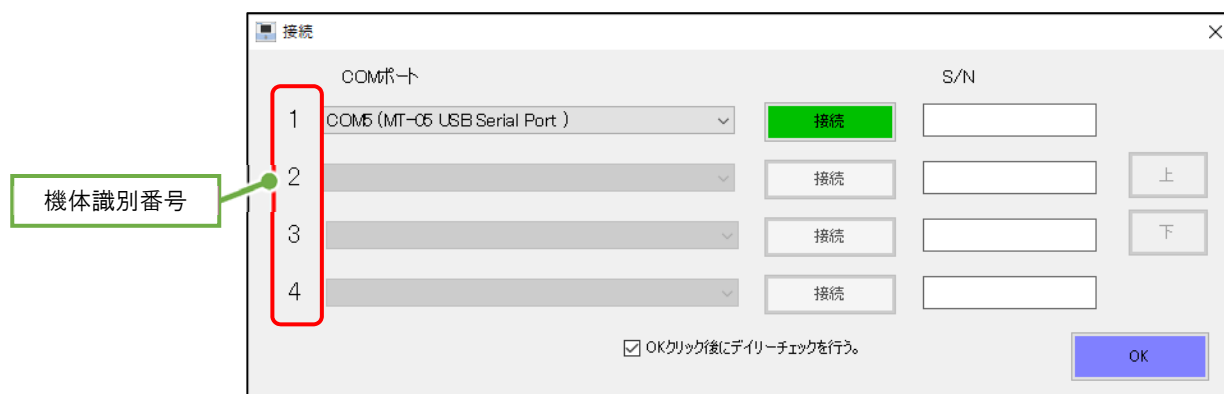
各機能の説明

〔接続〕	接続画面を開きます。「8 接続」参照
〔デイリーチェック〕	デイリーチェック画面を開きます。「9 デイリーチェック」参照
〔フィットテスト〕	フィットテスト画面を開きます。「10 フィットテスト」参照
〔フィットテストレポート〕	フィットテストレポート画面を開きます。 「11 フィットテストレポート」参照
〔フィットチェック〕	フィットチェック画面を開きます。「12 フィットチェック」参照
〔トレーニング〕	トレーニング画面を開きます。「13 トレーニング」参照
〔被験者〕	被験者データ画面を開きます。「15 被験者データ」参照
〔マスク〕	マスクデータ画面を開きます。「16 マスクデータ」参照
〔プロトコル〕	プロトコルテーブル画面を開きます。「17 プロトコル」参照

- 各画面で〔×〕または〔閉じる〕をクリックすると画面を閉じることができます。

8 接続

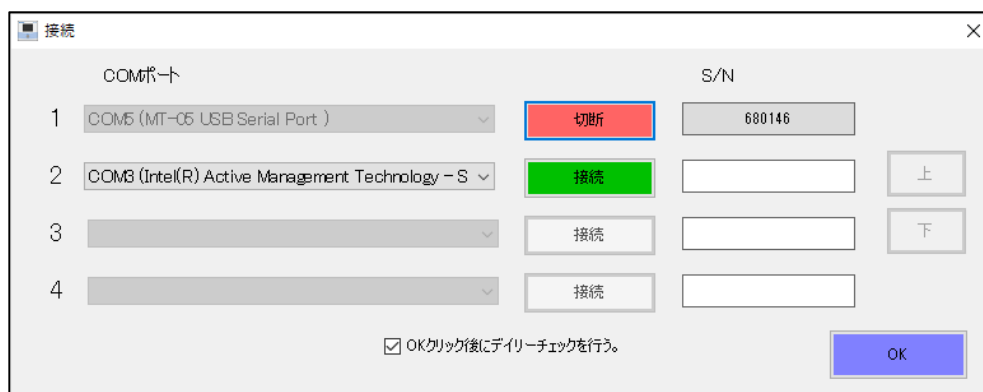
本通信ソフトウェアの起動画面の「接続」をクリックすると接続画面が表示されます。



各機能の説明

機体識別番号	本通信ソフトウェアと MT-05U 双方に表示する番号です。(1～4)
COM ポート	ドロップダウンリストから通信する機体の選択をおこないます。
「接続」	COM ポートで選択した機体との通信を開始します。
S/N	通信中の MT-05U のシリアルナンバーを表示します。 機体識別番号の並べ替えをおこなう機体の選択をおこないます。
「上」 / 「下」	選択した機体識別番号の並べ替えをおこないます。
チェックボックス	チェックボックスにチェックがある状態で「OK」をクリックするとデイレリーチェック画面に移行し、その後デイレリーチェック画面を閉じるとフィットテスト画面に移行します。

COM ポートのドロップダウンリストをクリックし、通信をする機体の COM ポート名「COM×× (MT-05 USB Serial Port)」を選択します。



「接続」をクリックするとボタン名称が「切断」に変わり、通信状態になります。

4 台まで接続が可能です。各機体の接続が終了したら「OK」をクリックします。

PC と MT-05U が通信状態ですと MT-05U の画面には下側に「機体識別番号」と「」を表示します。

この状態の時は、MT-05U の「タッチパネル」および「START」の操作はできなくなります。

- 「切断」をクリックすると PC と MT-05U の接続をやめることができます。

9 デイリーチェック

フィットテストを開始する前に各機体の動作確認をおこないます。

起動画面で「デイリーチェック」をクリックすると下記画面が開きます。

各機能の説明

「データの確認 / 読込」	本体ログデータ取得・リストの印刷をおこないます。 「9-1 デイリーチェックデータ」参照
「保存ファイル」	データの自動保存先を指定します。「18-1 保存ファイル」参照
粒子径範囲	測定粒径を選択します。(0.3~0.5 μ m / 0.3 μ m 以上 / 0.5 μ m 以上)
最少粒子数チェック	下限値となる計数値を設定します。選択した粒子径範囲により入力下限が異なります。(5000- / 5000- / 500-)
ゼロチェック	上限値となる計数値を設定します。(1-30)
最大 Fit Factor チェック	下限値となる Fit Factor を設定します。 (10000- / 10000- / 1000-)
「設定の初期化」	設定内容を工場出荷時の状態にします。
「Start」	デイリーチェック測定を開始します。 「9-2 Start (デイリーチェック)」参照
外側	外気の瞬時値を表示します。
マスク	マスク内の瞬時値を表示します。

9-1 デイリーチェックデータ

デイリーチェック画面で「データの確認 / 読込」をクリックするとデイリーチェックデータ画面が開きます。デイリーチェックデータ画面ではデイリーチェック測定結果を保存するデータファイルの編集、MT-05U のデイリーチェックロギングデータの全取得／全消去、取得済みデータリストの印刷をおこないます。

S/N	測定日	最少粒子数	ゼロ	最大Fit Factor	粒子径範囲
680146	2018/12/17 11:45:44	6552	0	32706	0.3 μm以上
860002	2018/12/17 11:45:44	6333	3	41790	0.3 μm以上
820236	2018/12/17 11:45:44	7209	0	42186	0.3 μm以上
820253	2018/12/17 11:45:44	9356	1	60480	0.3 μm以上
820236	2018/12/07 17:20:41	13026	3	79932	0.3 μm以上
820253	2018/12/07 17:12:25	14286	0	16706	0.3 μm以上
820236	2018/12/07 17:12:25	13148	0	37785	0.3 μm以上
820253	2018/12/07 17:06:27	14165	3	88920	0.3 μm以上
820236	2018/12/07 17:06:27	13035	0	15398	0.3 μm以上
820253	2018/12/07 16:10:12	14370	0	89556	0.3 μm以上
820236	2018/12/07 16:05:07	13403	1	79512	0.3 μm以上
820253	2018/12/07 16:05:07	13876	3	21857	0.3 μm以上
820253	2018/12/07 14:50:13	11436	0	66864	0.3 μm以上

各機能の説明

「ファイル選択」	ログデータを保存するデータファイルを選択します。 「18-2 ファイル選択」参照
「新規ファイル」	ログデータを保存するデータファイルを新規作成します。 「18-3 新規ファイル」参照
「ファイルの削除」	データファイルを削除します。「18-4 ファイルの削除」参照
機器選択・ログデータ	ドロップダウンリストに接続されているMT-05Uが表示されますので、ログデータ操作をおこなう機体のシリアルを選択します。 ログデータには機器選択で選択した機体に保存されているデータ数が表示されます。「19-1 ログデータ」参照
「ログデータの読込」	機器選択で選択した機体のロギングデータを読み込みます。 「19-2 ログデータの読込」参照
「全ログデータの削除」	機器選択で選択した機体のロギングデータを全消去します。 「19-3 全ログデータの削除」参照
「データの削除」	リストの中から選択したデータを削除します。 「18-6 データの削除」参照
「印刷 / プレビュー」	リストに表示されているデータ一覧を印刷します。 「20-2 印刷方法」参照

9-2 Start（デیلیーチェック）

[Start] をクリックするとデیلیーチェック測定を開始します。
 右上の[Start]をクリックすると機体番号表示がされている全機体の測定が開始され、個別の[Start]をクリックするとクリックした機体のみ測定が開始されます。

最少粒子数チェックを「PASS」した場合、メッセージを表示して一時停止します。
 メッセージの指示に従い、「MASK」側にゼロフィルターを装着してください。

装着後、[Start] をクリックし測定を再開します。
 ゼロチェックでは「PASS」の場合でも一時停止せずに最大 Fit Factor チェックへ進みます。
 デیلیーチェック測定項目全てで「PASS」になるとデیلیーチェックは終了です。

測定結果が全機体同じ結果であった場合は引き続き一斉操作が可能です。測定結果が分かれた場合、または個別操作をおこなった場合は個別操作に変わり、一斉操作はできなくなります。

測定中は [Stop] が表示されます。

[Stop] をクリックするとデیلیーチェック測定を中止します。

9-3 やり直し

デイリーチェック測定中（最少粒子数チェック、ゼロチェック、最大 Fit Factor チェック）に各項目で判定が「FAIL」となった場合、測定を一時停止し、[やり直し]と[キャンセル]が表示されます。
[やり直し]をクリックすると「FAIL」となった測定項目から再測定を開始します。
[キャンセル]をクリックすると再測定はおこなわず初期画面に戻ります。

S/N 820236 1

最少粒子数チェック
FAIL 原因の確認後、やり直しボタンを押してください。

やり直し キャンセル

	値	結果
最少粒子数	0	FAIL
ゼロ		
最大Fit Factor		

外側 ----- マスク -----

S/N 820236 1

ゼロチェック
FAIL 原因の確認後、やり直しボタンを押してください。

やり直し キャンセル

	値	結果
最少粒子数	14163	PASS
ゼロ	13266	FAIL
最大Fit Factor		

外側 ----- マスク -----

S/N 820236 1

最大Fit Factorチェック
FAIL 原因の確認後、やり直しボタンを押してください。

やり直し キャンセル

	値	結果
最少粒子数	14163	PASS
ゼロ	0	PASS
最大Fit Factor	3	FAIL

外側 ----- マスク -----

9-4 再測定

デイリーチェック測定が全て「PASS」すると[再測定]が表示されます。
[再測定]をクリックすると、もう一度同じ測定をするための準備をおこないます。
再度デイリーチェック測定をおこなう場合は[Start]をクリックします。

デイリーチェック

データの確認/読込
保存ファイル DCL_20181029184059.csv

最少粒子数チェック 5000 5000-
ゼロチェック 3 1-30
最大Fit Factorチェック 10000 10000-

粒子径範囲
☐ 0.3~0.5 μm
☒ 0.3 μm以上
☐ 0.5 μm以上

設定の初期化

S/N 680146
PASS

再測定

	値	結果
最少粒子数	5	
ゼロ		
最大Fit Factor	30	

外側 ----- マスク -----

デイリーチェック

データの確認/読込
保存ファイル DCL_20181029184059.csv

最少粒子数チェック 5000 5000-
ゼロチェック 3 1-30
最大Fit Factorチェック 10000 10000-

粒子径範囲
☐ 0.3~0.5 μm
☒ 0.3 μm以上
☐ 0.5 μm以上

設定の初期化

S/N 680146 1

ゼロフィルターを外してからSTARTボタンを押してください。

Start

	値	結果
最少粒子数		
ゼロ		
最大Fit Factor		

外側 ----- マスク -----

閉じる

10 フィットテスト

本通信ソフトウェアから MT-05U を操作し、フィットテスト測定～レポート印刷までをおこないます。被験者データ、マスクデータ、プロトコルデータの編集もおこなえます。

起動画面で「フィットテスト」をクリックするとフィットテスト画面が開きます。

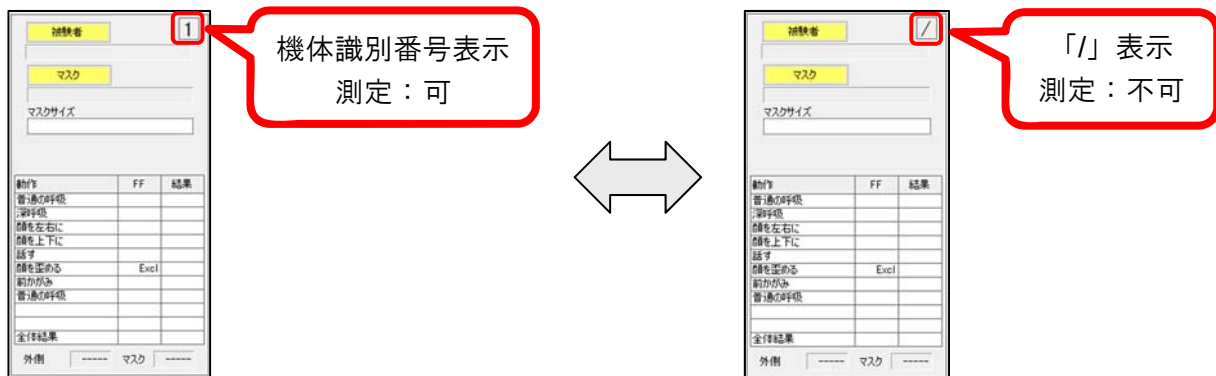
各機能の説明

「保存ファイル」	データの自動保存先を指定します。「18-1 保存ファイル」参照
測定機体別表示部	測定機体別にデータを表示します。
機体識別番号	測定をおこなう機体識別番号を選択します。「10-1 機体識別番号」参照
「被験者」	被験者データを編集・選択します。「15 被験者データ」参照
「マスク」	マスクデータを編集・選択します。「16 マスクデータ」参照
マスクサイズ	マスクサイズを入力します。
「プロトコル」	プロトコルを編集・選択します。「17 プロトコル」参照
オペレーター	オペレーター名を入力します。
「Start」	フィットテスト測定を開始します。 「10-2 Start（フィットテスト）」参照
外側	外気の瞬時値を表示します。
マスク	マスク内の瞬時値を表示します。

10-1 機体識別番号

フィットテスト測定、フィットチェック測定、トレーニング測定では、機体識別番号をクリックするたびに「識別番号」と「/」を交互に表示します。

「/」表示にすると [Start] をクリックしてもその機体の測定はおこないません。



- フィットテスト測定では複数台接続した場合のみ機体識別番号の表示の切り替えができます。

10-2 Start（フィットテスト）

被験者、マスク、オペレーター、マスクサイズの全てを選択・入力すると、[Start] が有効になります。

[Start] をクリックするとフィットテスト測定を開始します。

フィットテスト測定の開始時に、MT-05U 本体のロギングデータの残容量が無い場合は、確認の表示がでます。



[OK] をクリックするとフィットテスト測定が開始されます。
保存は MT-05U 側の設定によります。

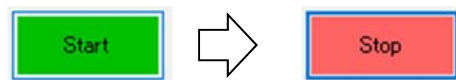
「上書きする」 → 上書き

「上書きしない」 → 保存しない

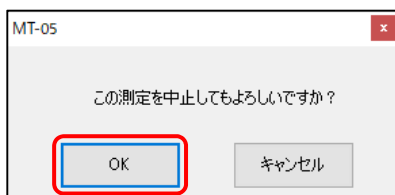
- MT-05U のフィットテストログデータを消去すると確認の表示は出なくなります。

→ 「19-3 全ログデータの削除」参照

[Start] は、測定中は [Stop] になります。



測定中に [Stop] をクリックすると確認の表示がでます。



[OK] をクリックすると測定は中止になります。

測定が終了すると測定結果が表示され、ファイルにフィットテスト測定結果が自動保存されます。

10-3 新規測定

フィットテスト測定が終了した後、[新規測定]、[再測定]、[レポート印刷 / プレビュー] が表示されます。[新規測定] をクリックすると新規の次測定（次の人、次のマスクの測定）をおこなうため、被験者、マスク、マスクサイズがクリアされますので再度選択または入力します。全て入力・選択すると [Start] がクリックできるようになり、測定を開始することができます。

フィットテスト

保存ファイル: FTL_20181029184059.csv

プロトコル: OSHA 29CFR1910.134

オペレーター: SST

新規測定

再測定

閉じる

レポート印刷 / プレビュー

1

被験者: AAABBB.CCC

マスク: AAA BBB CCC [99]

マスクサイズ: M

動作	FF	結果
普通の呼吸	157000	PASS
深呼吸	166680	PASS
顔を左右に	193160	PASS
顔を上下に	194600	PASS
話す	184640	PASS
顔を歪める	Excl	
前かがみ	191160	PASS
普通の呼吸	217720	PASS
全体結果	184575	PASS

外側: ----- マスク: -----

10-4 再測定

フィットテスト測定が終了した後、[再測定] をクリックすると同条件の再測定（同じ人、同じマスクの測定）をおこなうことができます。

[Start] が表示されているので、すぐに再測定を開始することができます。

フィットテスト

保存ファイル: FTL_20181029184059.csv

プロトコル: OSHA 29CFR1910.134

オペレーター: SST

新規測定

再測定

閉じる

レポート印刷 / プレビュー

Start

閉じる

1

被験者: AAABBB.CCC

マスク: AAA BBB CCC [99]

マスクサイズ: M

動作	FF	結果
普通の呼吸		
深呼吸		
顔を左右に		
顔を上下に		
話す		
顔を歪める	Excl	
前かがみ		
普通の呼吸		
全体結果		

外側: ----- マスク: -----

10-5 レポート印刷 / プレビュー

フィットテストレポートのプレビュー表示 / 印刷をおこないます。

→「20-2 印刷方法」参照

11 フィットテストレポート

MT-05U のフィットテストロギングデータの取得、被験者・マスクデータの作成／編集、フィットテスト測定結果データの編集・確認、フィットテストレポートやカードの印刷をおこなう画面です。

起動画面の[フィットテストレポート]をクリックするとフィットテストレポート画面が開きます。

各機能の説明

[報告書選択]	フィットテスト測定結果データを保存するファイルやデータの選択などをおこなうフィットテストデータ画面を開きます。 「11-1 フィットテストデータ」参照
[ログデータの読込 / 選択]	フィットテストロギングデータを保存するファイルの削除・作成、ロギングデータの全取得／全消去などをおこなうフィットテストログデータ画面を開きます。「11-2 フィットテストログデータ」参照
[保存ファイル]	編集したフィットテスト測定結果を保存するファイルを選択します。 「18-1 保存ファイル」参照
[被験者]	被験者データ画面を開きます。「15 被験者データ」参照
[マスク]	マスクデータ画面を開きます。「16 マスクデータ」参照
マスクサイズ	マスクサイズを入力します。
[プロトコル]	測定に使用したプロトコルの内容を表示します。編集はできません。 「17 プロトコル」参照
[更新]	[保存ファイル] 横に表示されているファイルにデータを保存します。 「11-5 更新」参照
[レポート印刷 / プレビュー]	現在表示しているデータのレポート印刷をします。 「20 印刷」参照
[カード印刷 / プレビュー]	現在表示しているデータのカード印刷をします。 「20 印刷」参照
測定日	測定日を編集します。「11-3 測定日」参照
次回測定期限	測定期限を編集します。「11-4 次回測定期限」参照
オペレーター	オペレーターの名前を入力します。
S/N	MT-05U のシリアルナンバーを表示します。
測定結果	フィットテスト測定結果を表示します。

11-1 フィットテストデータ

フィットテスト測定結果データを保存するファイルの編集・新規作成・削除ならびにフィットテストレポート画面へ展開・編集・印刷するデータの選択をおこなう画面です。

フィットテストレポート画面で「報告書選択」をクリックするとフィットテストデータ画面が開きます。

「ファイル選択」の横に表示されたファイル内のデータがリストに表示されます。

姓	名	ID番号	マスク	マスクサイズ	測定日
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	aa	2018/12/06 16:25:11
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	M	2018/12/06 15:57:09
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	d	2018/11/27 14:08:07
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	s	2018/11/27 14:08:07
AAA	BBB	CCC	2 3 4 [5]	sa	2018/11/22 17:03:30
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	sda	2018/11/22 17:03:30
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	ss	2018/11/22 16:58:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:52:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:49:04
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:45:10
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	a	2018/11/22 16:35:04
SIBATA	SIBATA	888888	2 3 4 [5]	ss	2018/11/22 16:20:31
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	q	2018/11/22 16:11:35
aaa	bbb	ccc	1 2 3 [4]	s	2018/11/22 15:54:48

リスト内のデータを選択すると「データ選択」、「データの削除」がクリックできるようになります。
「データ選択」をクリックするとフィットテストデータ画面は閉じられ、選択したデータの内容がフィットテストレポート画面に展開されます。

各機能の説明

「ファイル選択」	リストに表示するデータファイルを選択します。 「18-2 ファイル選択」参照
「新規ファイル」	データファイルを新規作成します。「18-3 新規ファイル」参照
「ファイルの削除」	データファイルを削除します。「18-4 ファイルの削除」参照
「データ選択」	フィットテストレポート画面に展開するデータを選択します。 「18-5 データ選択」参照 ●フィットテストレポートから来たときのみ表示されます。

〔データの削除〕	データファイル内から選択したデータを削除します。 「18-6 データの削除」参照
〔ファイル作成〕	表示されているリストの内容を保存します。「18-7 ファイル作成」参照 ●メニューバーから来たときのみ表示されます。
〔プリント / プレビュー〕	印刷用のプレビュー画面を表示します。「20-2 印刷方法」参照 ●メニューバーから来たときのみ表示されます。

11-2 フィットテストログデータ

取得したフィットテストロギングデータを保存するファイルの編集、本体のフィットテストロギングデータの全取得／全消去、ファイルに保存しているデータの選択／削除をおこなうことができます。

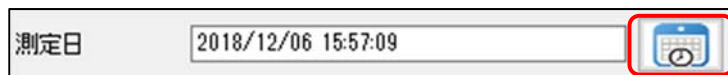
フィットテストレポート画面で〔ログデータの読込 / 選択〕をクリックするとフィットテストログデータ画面が開きます。

各機能の説明

〔ファイル選択〕	ログデータを保存するデータファイルを選択します。 「18-2 ファイル選択」参照
〔新規ファイル〕	ログデータを保存するデータファイルを新規作成します。 「18-3 新規ファイル」参照
〔ファイルの削除〕	データファイルを削除します。「18-4 ファイルの削除」参照
〔データ選択〕	リストファイルから選択したデータを展開します。 「18-5 データ選択」参照
〔データの削除〕	リストファイルから選択したデータを削除します。 「18-6 データの削除」参照
機器選択・ログデータ	ドロップダウンリストに接続されている MT-05U が表示されますので、ログデータ操作をおこなう機体のシリアルを選択します。 ログデータには機器選択で選択した機体に保存されているデータ数が表示されます。「19-1 ログデータ」参照
〔ログデータの読込〕	機器選択で選択した機体のロギングデータを読み込みます。 「19-2 ログデータの読込」参照
〔全ログデータの削除〕	機器選択で選択した機体のロギングデータを全消去します。 「19-3 全ログデータの削除」参照

11-3 測定日

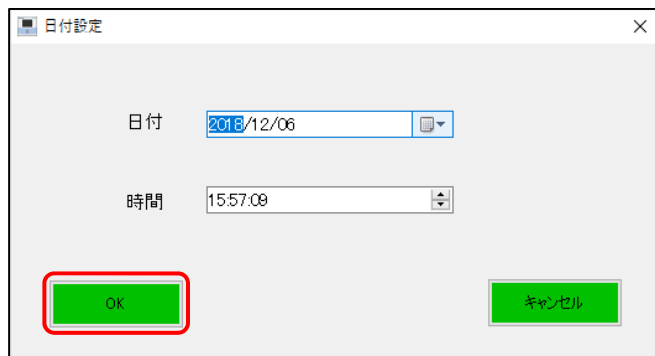
測定開始日時はカレンダーアイコンから変更ができます。
カレンダーアイコンをクリックするとカレンダーが表示されます。



測定日 2018/12/06 15:57:09

The image shows a text input field for the measurement date and time. The text inside is "2018/12/06 15:57:09". To the right of the text is a small calendar icon. The entire input field and icon are enclosed in a red rectangular box.

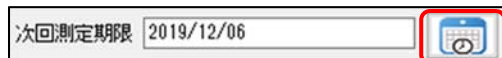
日付と時間を設定し、[OK] をクリックすると変更が反映されます。



The image shows a dialog box titled "日付設定" (Date Setting). It contains two input fields: "日付" (Date) with the value "2018/12/06" and a calendar icon, and "時間" (Time) with the value "15:57:09". At the bottom, there are two green buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel). The "OK" button is highlighted with a red rectangular box.

11-4 次回測定期限

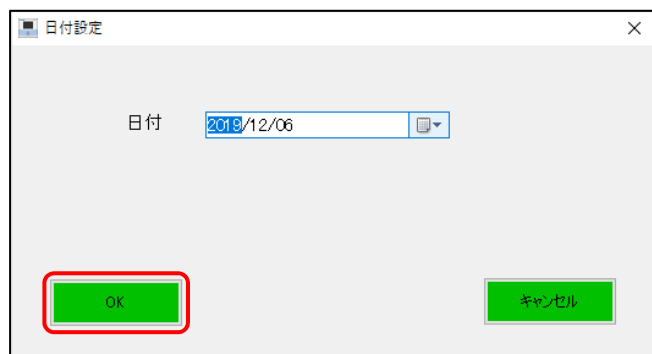
測定開始日時とプロトコルデータの次回測定期限から算出した次回測定期限を表示します。
次回測定期限はカレンダーアイコンから設定・変更ができます。
カレンダーアイコンをクリックするとカレンダーが表示されます。



次回測定期限 2019/12/06

The image shows a text input field for the next measurement deadline. The text inside is "2019/12/06". To the right of the text is a small calendar icon. The entire input field and icon are enclosed in a red rectangular box.

日付を選択し、[OK] をクリックします。



The image shows a dialog box titled "日付設定" (Date Setting). It contains one input field: "日付" (Date) with the value "2018/12/06" and a calendar icon. At the bottom, there are two green buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel). The "OK" button is highlighted with a red rectangular box.

11-5 更新

画面に表示しているフィットテスト測定結果データを保存します。

フィットテストレポート

報告書選択 ログデータの読込/選択

更新 レポート印刷/プレビュー カード印刷/プレビュー

測定日 2018/12/06 15:57:09

保存ファイル FTL_20181213140247.csv

S/N 820253 次回測定期限 2019/12/06

オペレーター SST2

被験者

姓 AAA
名 BBB
ID番号 CCC
会社 SST
場所 SAITAMA
注記

マスク AAA BBB CCC [100]
マスクサイズ M

プロトコル OSHA 29CFR1910.134

測定結果

Step	動作	FF	結果
1	普通の呼吸	552520	PASS
2	深呼吸	56116	PASS
3	顔を左右に	56376	PASS
4	顔を上下に	11649	PASS
5	話す	59416	PASS
6	顔を歪める	除外	
7	前かがみ	551480	PASS
8	普通の呼吸	538040	PASS
9			
10			
	全体	48707	PASS

判定基準 100

閉じる

必須項目（被験者・マスク）が選択されていると「更新」がクリックできるようになります。
「保存ファイル」の横に表示中のファイル内のデータに上書きもしくは新規保存をします。
リストファイル内のデータと同じであれば確認の表示がでます。

MT-05

上書きしてもよいですか？

OK キャンセル

「OK」をクリックするとリストファイル内のデータに「上書き」をします。

12 フィットチェック

この画面では本通信ソフトウェアからの操作でフィットチェック測定をおこないます。

- フィットチェック測定は被験者、マスク、マスクサイズの情報が入力済みでも測定できます。

起動画面の「フィットチェック」をクリックするとフィットチェック画面が開きます。

フィットチェック

データの確認/読込 保存ファイル FCL_20181029184059.csv

粒子径範囲

☐ 0.3~0.5 μ m

☒ 0.3 μ m以上

☐ 0.5 μ m以上

Start

設定の初期化

漏れ率判定基準 5.00 % (0.00-99.99)

測定時間 3 sec (3-99)

ページ時間 10 sec (10-99)

最少粒子数チェック 1000 count(500-)

測定機体別表示部

被験者 1

機体識別番号

マスク

マスクサイズ

測定の準備をして、呼吸を整えてください。

	値	
漏れ率		%
外側		count
マスク内		count
結果		

外側 ----- マスク -----

閉じる

各機能の説明

「データの確認 / 読込」	本体フィットチェックデータの取得やフィットチェックデータを編集します。「12-1 フィットチェックデータ」参照
「保存ファイル」	データ自動保存先を選択します。「18-1 保存ファイル」参照
粒子径範囲	測定粒径を選択します。(0.3~0.5 μ m / 0.3 μ m 以上 / 0.5 μ m 以上)
漏れ率判定基準	合格となる漏れ率の基準を入力します。(0.00-99.99)
測定時間	計数時間を入力します。(3-99)
ページ時間	ページ時間を入力します。(10-99)
最少粒子数チェック	粒子数の下限値を入力します。(500- / 5000- / 5000-)
「設定の初期化」	設定内容を工場出荷時の状態にします。
「Start」	フィットチェック測定を開始します。 「12-2 Start (フィットチェック)」参照
測定機体別表示部	測定機体別データを表示します。
機体識別番号	測定をおこなう機体識別番号を選択します。 「10-1 機体識別番号」参照
「被験者」	被験者データを編集・選択します。「15 被験者データ」参照
「マスク」	マスクデータを編集・選択します。「16 マスクデータ」参照
マスクサイズ	マスクサイズを入力します。
外側	外気の瞬時値を表示します。
マスク	マスク内の瞬時値を表示します。

12-1 フィットチェックデータ

フィットチェック測定結果を保存するデータファイルの編集、本体のフィットチェックロギングデータからの全取得／消去、取得済みデータのリスト閲覧／編集をおこないます。

フィットチェック画面の「データの確認 / 読込」をクリックするとフィットチェックデータ画面が開きます。

姓	名	ID番号	マスク	測定日	漏れ率(%)	結果	コード番号	S/N
				2018/12/17 13:49:05	100.0	FAIL		680146
				2018/12/17 13:49:05	0.00	PASS		820236
				2018/12/17 13:49:05	0.00	PASS		860002

各機能の説明

「ファイル選択」	リストに表示するデータファイルを選択します。 「18-1 保存ファイル」参照
「新規ファイル」	データファイルを新規作成します。「18-3 新規ファイル」参照
「ファイルの削除」	データファイルを削除します。「18-4 ファイルの削除」参照
「データの削除」	データを削除します。「18-6 データの削除」参照
機器選択・ログデータ	ドロップダウンリストに接続されている MT-05U が表示されますので、ログデータ操作をおこなう機体のシリアルを選択します。 ログデータには機器選択で選択した機体に保存されているデータ数が表示されます。「19-1 ログデータ」参照
「ログデータの読込」	機器選択で選択した機体のロギングデータを読み込みます。 「19-2 ログデータの読込」参照
「全ログデータの削除」	機器選択で選択した機体のロギングデータを全消去します。 「19-3 全ログデータの削除」参照
「被験者」	被験者データ画面を表示します。「15 被験者データ」参照
「マスク」	マスクデータ画面を表示します。「16 マスクデータ」参照
「印刷 / プレビュー」	リスト表示されている一覧データを印刷します。 「20-2 印刷方法」参照
「ファイル作成」	フィットチェックデータのコピーを作成します。 「18-7 ファイル作成」参照
「更新」	変更内容を保存します。

12-2 Start (フィットチェック)

[Start] をクリックするとフィットチェック測定を開始します。

The screenshot shows the 'フィットチェック' (Fit Check) window. The 'Start' button is highlighted with a red box. The window contains the following elements:

- Buttons:** データの確認/読み込み (Data Confirmation/Load), 保存ファイル (Save File), 設定の初期化 (Reset Settings), Start (highlighted), 閉じる (Close).
- File Path:** FCL_20181029184059.csv
- Parameters:**
 - 漏れ率判定基準 (Leakage Rate Judgment Standard): 5.00 % (0.00-99.99)
 - 測定時間 (Measurement Time): 3 sec (3-99)
 - パージ時間 (Purge Time): 10 sec (10-99)
 - 最少粒子数チェック (Minimum Particle Count Check): 1000 count(500-)
- Particle Size Range (粒子径範囲):**
 - ☐ 0.3~0.5 μm
 - ☒ 0.3 μm以上
 - ☐ 0.5 μm以上
- Subject Information (被験者):**
 - 被験者 (Subject): 1
 - AAA BBB CCC
 - マスク (Mask): AAA BBB CCC
 - マスクサイズ (Mask Size): M
- Instructions:** 測定の準備をして、呼吸を整えてください。(Prepare for measurement, please adjust your breathing.)
- Table:**

	値	
漏れ率		%
外側		count
マスク内		count
結果		
外側	-----	マスク -----
- Buttons:** 閉じる (Close)

測定中は [Stop] が表示され、[Stop] をクリックするとフィットチェック測定を中止します。

The screenshot shows the 'フィットチェック' (Fit Check) window during the measurement process. The 'Stop' button is highlighted with a red box. The window contains the following elements:

- Buttons:** データの確認/読み込み (Data Confirmation/Load), 保存ファイル (Save File), 設定の初期化 (Reset Settings), Stop (highlighted), 閉じる (Close).
- File Path:** FCL_20181029184059.csv
- Parameters:**
 - 漏れ率判定基準 (Leakage Rate Judgment Standard): 5.00 % (0.00-99.99)
 - 測定時間 (Measurement Time): 3 sec (3-99)
 - パージ時間 (Purge Time): 10 sec (10-99)
 - 最少粒子数チェック (Minimum Particle Count Check): 1000 count(500-)
- Particle Size Range (粒子径範囲):**
 - ☐ 0.3~0.5 μm
 - ☒ 0.3 μm以上
 - ☐ 0.5 μm以上
- Subject Information (被験者):**
 - 被験者 (Subject): 1
 - AAA BBB CCC
 - マスク (Mask): AAA BBB CCC
 - マスクサイズ (Mask Size): M
- Instructions:** マスクフィッティング測定をおこなっています。(Performing mask fitting measurement.)
- Table:**

	値	
漏れ率		%
外側		count
マスク内		count
結果		
外側	474	マスク -----
- Buttons:** 閉じる (Close)

12-3 新規測定

フィットチェック測定が終了すると、[新規測定]、[再測定]が表示されます。

[新規測定]をクリックすると新規の次測定（他の人、他のマスクの測定）をおこなうため、被験者・マスク・マスクサイズ欄がクリアされます。次測定の被験者、マスク、マスクサイズを選択・入力し、[Start]をクリックし次測定を開始します。

- フィットチェック測定は被験者、マスク、マスクサイズの情報が未入力でも測定できます。

フィットチェック

データの確認/読み込み 保存ファイル FCL_20181029184059.csv 粒子径範囲

新規測定 再測定

5.00 % (0.00-99.99)

0.3~0.5 μm

Start

測定準備

測定時間 3 sec (3-99)

パージ時間 10 sec (10-99)

最少粒子数チェック 1000 count(500-)

設定の初期化

被験者 1

マスク

マスクサイズ

測定の準備をして、呼吸を整えてください。

	値	%
漏れ率		
外側		count
マスク内		count
結果		
外側	-----	マスク

閉じる

12-4 再測定

[再測定]をクリックすると入力・選択した被験者、マスク、マスクサイズはそのまま再度測定開始前の状態に戻ります。入力・選択内容に問題がなければ [Start] をクリックし測定を開始します。

フィットチェック

データの確認/読み込み 保存ファイル FCL_20181029184059.csv 粒子径範囲

新規測定 再測定

5.00 % (0.00-99.99)

0.3~0.5 μm

Start

測定準備

測定時間 3 sec (3-99)

パージ時間 10 sec (10-99)

最少粒子数チェック 1000 count(500-)

設定の初期化

被験者 1

AAA BBB CCC

マスク

AAA BBB CCC

マスクサイズ

M

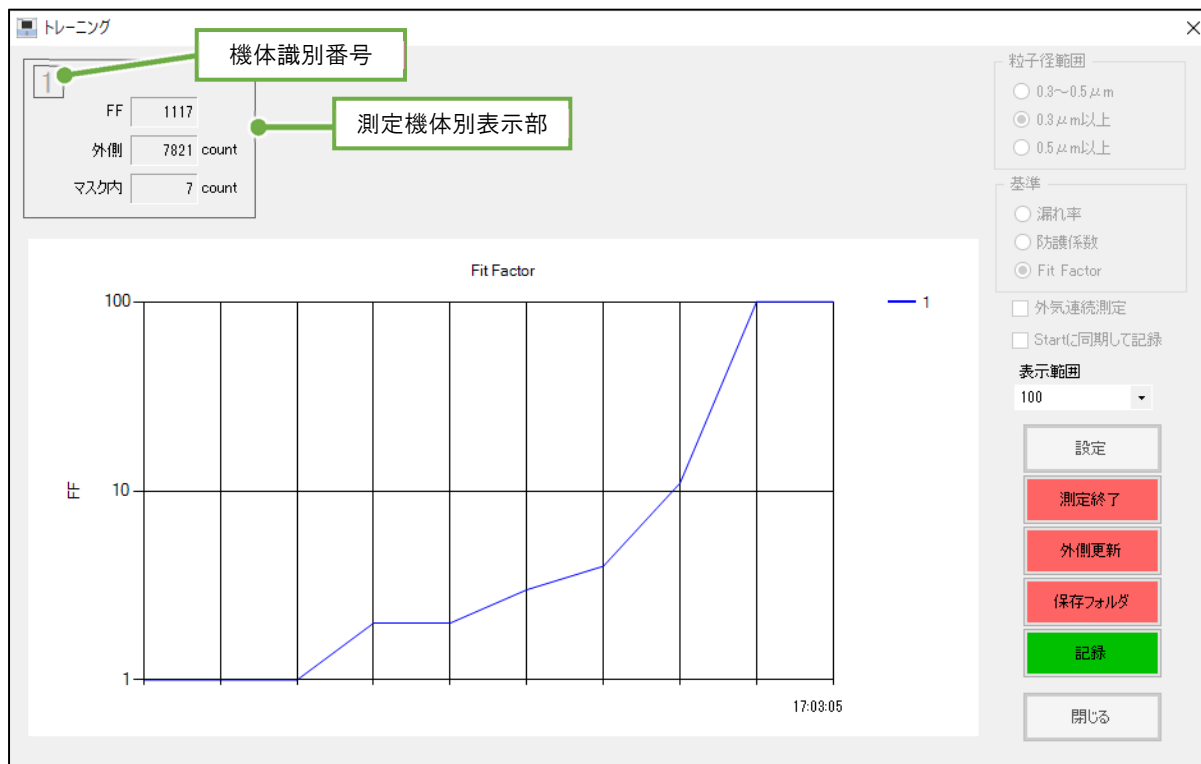
測定の準備をして、呼吸を整えてください。

	値	%
漏れ率		
外側		count
マスク内		count
結果		
外側	-----	マスク

閉じる

13 トレーニング

起動画面の「トレーニング」をクリックするとトレーニング画面が表示されます。
本画面では本通信ソフトウェアからの操作でトレーニング測定をおこないます。



各機能の説明

測定機体別表示部	測定機体別にデータを表示します。
機体識別番号	測定をおこなう機体識別番号を選択します。 「10-1 機体識別番号」参照
粒子径範囲	測定粒径を選択します。 (0.3~0.5 μm / 0.3 μm 以上 / 0.5 μm 以上)
基準	評価基準を選択します。(漏れ率 / 防護係数 / Fit Factor)
外気連続測定	外気連続測定モードで動作します。
Start に同期して記録	[Start] をクリックしたタイミングからロギングを開始します。
表示範囲	グラフのフルスケールを選択します。
[設定]	トレーニングの設定画面を開きます。 トレーニング測定中は押すことができません。 「13-1 トレーニングの設定」
[Start]	トレーニング測定を開始します。 「13-2 Start (トレーニング)」参照
[保存フォルダ]	トレーニングログデータを保存するフォルダを選択します。
[記録]	トレーニングログデータの取得を開始します。 「13-3 記録」参照

13-1 トレーニングの設定

この画面ではトレーニング測定の設定をおこないます。

トレーニング画面の「設定」をクリックするとトレーニング設定画面が表示されます。
設定後「OK」をクリックします。

各機能の説明

パージ時間	パージ時間の設定（10-99）
外側測定時間	外気の測定時間の設定（3-99）
外側測定周期	外気の測定サイクルの設定（-999）

- 外側測定周期の下限値は（（パージ時間 + 外側測定時間）* 2）です。

13-2 Start（トレーニング）

「Start」をクリックするとトレーニング測定を開始します。

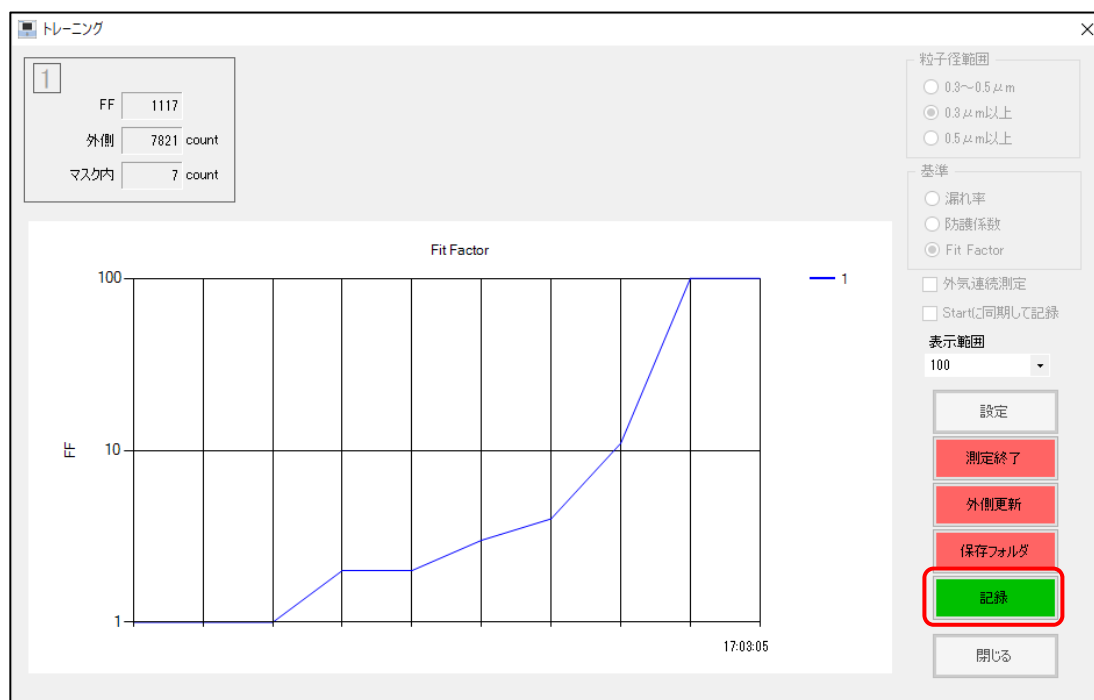
測定中は「外側更新」と「測定終了」が表示されます。

「外側更新」をクリックすると外気測定を再度おこないます。「測定終了」をクリックすると測定を終了できます。

- 外気連続測定で測定する場合は「外気更新」は表示されません。

13-3 記録

「記録」をクリックするとロギングを開始します。



測定中は「記録停止」が表示されます。

「記録」をクリックすると「保存フォルダ」で選択したフォルダに記録開始日時の名称で CSV ファイルが作成され、トレーニング測定値を自動保存します。

ログデータの自動保存は「記録停止」か「測定終了」をクリックするまで継続されます。

14 次回測定期限リスト

選択したデータファイルをもとに次回測定期限の一覧を表示します。

メニューバーの「データ」から「次回測定期限リスト」をクリックすると次回測定期限リスト画面が開きます。

次回測定期限リスト

×

姓	名	ID番号	会社	マスク	次回測定期限
AAA	BBB	CCC	SST	a b c [100]	2019/01/13
AAA	BBB	CCC	SST	99 99 99 [99]	2019/01/13
AAA	BBB	CCC	SST	a b c [100]	2019/01/14
aaa	bbb	ccc	SST	a b c [100]	2019/01/17
SIBATA	SIBATA	888888	SST	aaa bbb ccc [123]	2019/01/17
aaa	bbb	ccc	SST	95 95 95 [95]	2019/01/17
AAA	BBB	CCC5	SST	99 99 99 [99]	2019/01/17
AAA	BBB	CCC	SST	95 95 95 [95]	2019/01/17
AAA	BBB	CCC	SST	99 99 99 [99]	2019/01/18
aaa	bbb	ccc	SST	95 95 95 [95]	2019/01/19
AAA	BBB	CCC	SST	a b c [100]	2019/01/25
AAA	BBB	CCC	SST	AAA BBB CCC [100]	2019/10/26
AAA	BBB	CCC	SST	AAA BBB CCC [100]	2019/10/26
AAA	BBB	CCC	SST	AAA BBB CCC [100]	2019/12/06
AAA	BBB	CCC5	SST	99 99 99 [99]	2019/12/17
AAA	BBB	CCC	SST	95 95 95 [95]	2019/12/17
AAA	BBB	CCC	SST	99 99 99 [99]	2019/12/17
AAA	BBB	CCC	SST	AAA BBB CCC [100]	2019/12/17
AAA	BBB	CCC5	SST	95 95 95 [95]	2019/12/17
AAA	BBB	CCC	SST	95 95 95 [95]	2019/12/17
aaa	bbb	ccc	SST	1 2 3 [4]	2019/12/17
AAA	BBB	CCC5	SST	95 95 95 [95]	2019/12/17
SIBATA	SIBATA	888888	SST	aaa bbb ccc [123]	2019/12/17

ファイル選択

FTL_20181213140247.csv

月 (1-24)
All

検索

印刷 / プレビュー

ファイルの作成

閉じる

各機能の説明

「ファイル選択」	リストに表示するデータファイルを選択します。 「18-2 ファイル選択」参照
「検索」	選択したデータファイル内のデータからドロップダウンリストで選択した条件でリストを再表示します。 1～24： 選択した月数内に次回測定期限がくるデータを再表示します。 All： 全てのデータを再表示します。 Passed： 次回測定期限が過ぎたデータを再表示します。
「印刷 / プレビュー」	印刷用のプレビュー画面を表示します。「20-2 印刷方法」参照
「ファイルの作成」	表示されているリストの内容を保存します。「18-7 ファイル作成」参照

15 被験者データ

この画面では、被験者データの新規作成、編集、選択、削除をおこないます。

- フィットテストレポート画面でフィットテスト測定結果を展開している場合は、リストからデータを選択することができません。

各画面の「被験者」をクリックすると被験者データ画面が開きます。

被験者データ

ファイル選択

PTL_20181029184059.csv

新規データ

データ設定

保存

ファイルの削除

新規ファイル

姓	名	ID番号	会社	場所
aaa	bbb	ccc	SST	3F
AAA	BBB	CCC	SST	SAITAMA
AAA	BBB	CCC	SST	SAITAMA
AAA	BBB	CCC5	SST	SAITAMA
AAA	BBB	CCC	SST	SAITAMA
SIBATA	SIBATA	888888	SST	3F

データの削除

データ選択

閉じる

姓

名

ID番号

会社

場所

注記

AAA

Option2

Option3

Option4

Option5

Option6

Option7

Option8

各機能の説明

「ファイル選択」	リストに表示するデータファイルを選択します。 「18-2 ファイル選択」参照
「新規ファイル」	保存するデータファイルを新規作成します。 「18-3 新規ファイル」参照
「ファイルの削除」	現在リスト表示しているデータファイルを削除します。 「18-4 ファイルの削除」参照
「データ選択」	選択したデータを各画面に展開します。「18-5 データ選択」参照 ● 表示されない場合があります。
「データの削除」	選択したデータをデータファイルの中から削除します。 「18-6 データの削除」参照
「新規データ」	データ入力欄がクリアされ、新規データを入力することができます。
「データ設定」	会社／場所／Option 欄のドロップダウンリストを編集します。 「15-1 被験者データのユーザー設定」参照
「保存」	作成・編集したデータをデータファイルに保存します。

被験者データの空欄部分に被験者データを入力します。

姓	AAA	*	Option1	
名	BBB	*	Option2	
ID番号	CCC	*	Option3	
会社	SST		Option4	
場所	SAITAMA		Option5	
注記			Option6	
			Option7	
			Option8	

姓	* 必須項目
名	* 必須項目
ID 番号	* 必須項目
会社	
場所	
注記	
Option1～8	

必須項目をすべて入力すると「保存」が有効になります。

- 会社、場所、Option 欄ではデータ設定で編集した内容をドロップダウンリストから選択することができます。

「保存」をクリックすると「ファイル選択」の横に表示されているデータファイルに保存され、リストに表示されます。

また、保存されているデータを選択しリストから編集することもできます。

姓	名	ID番号	会社	場所
aaa	bbb	ccc	SST	3F
AAA	BBB	CCC	SST	SAITAMA
AAA	BBB	CCC	SST	SAITAMA
AAA	BBB	CCC5	SST	SAITAMA
AAA	BBB	CCC	SST	SAITAMA
SIBATA	SIBATA	888888	SST	3F

保存されているデータを編集後に「保存」をクリックすると確認の表示が出ます。

「OK」をクリックするとデータは上書きされます。

MT-05

上書きしてもよいですか?

OK キャンセル

15-1 被験者データのユーザー設定

この画面ではカスタムラベルの名称変更と会社、場所、Option 欄のドロップダウンリストを作成／編集することができます。

被験者データ画面の「データ設定」をクリックし、被験者データのユーザー設定画面を開きます。

被験者データのユーザー設定

最大10個のカスタムデータを設定できます(半角25文字以内)

カスタム名称(半角10文字以内)	ラベル	データ		
カスタム1	Option1	Option1	LABEL_1	編集
カスタム2	Option2	Option2		編集
カスタム3	Option3	Option3		編集
カスタム4	Option4	Option4		編集
カスタム5	Option5	Option5		編集
カスタム6	Option6	Option6		編集
カスタム7	Option7	Option7		編集
カスタム8	Option8	Option8		編集

会社: Company_1 編集

場所: Location_1 編集

更新 閉じる

【カスタムラベル名称の変更】

左上のテキストボックスに表示したいラベル名称を記入します。

- レポートを印刷する際にカスタムラベルを表示したくない場合は空欄にします。

被験者データのユーザー設定

最大10個のカスタムデータを設定できます(半角25文字以内)

カスタム名称(半角10文字以内) ラベル

カスタム1 AAA

カスタム2 Option2

Option1 Option2

Option7 Option8

会社: Company_1 編集

場所: Location_1 編集

更新 閉じる

【ドロップダウンリストの作成／編集】

■ 作成方法

作成・編集したいドロップダウンリスト横にある「編集」をクリックし、被験者データ設定の編集画面を開きます。

カスタム名称(半角10文字以内)	ラベル	データ	
カスタム1	Option1	LABEL1_1	編集
カスタム2	Option2		編集
カスタム3	Option3		編集
カスタム4	Option4		編集
カスタム5	Option5		編集
カスタム6	Option6		編集
カスタム7	Option7		編集
カスタム8	Option8		編集

会社: Company_1 編集

場所: Location_1 編集

更新 閉じる

「追加」をクリックするとテキストボックスが表示され、テキストボックスに入力後再度「追加」をクリックするとリストに表示され、ドロップダウンリストに追加されます。同様の操作を繰り返すことで、リストを10個まで設定することができます。

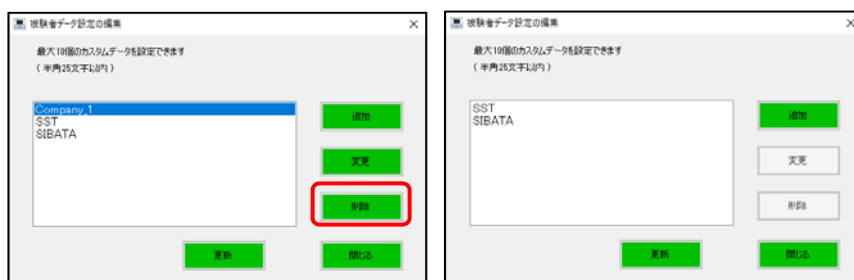
■ 編集方法

リストから編集する項目を選択し、「変更」をクリックします。

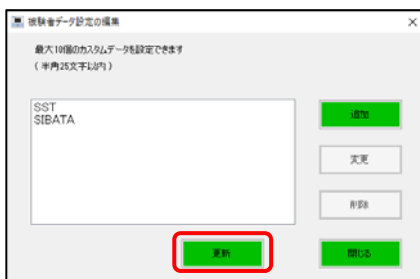
リストの上にテキストボックスが表示されるので、その内容を変更し、再度「変更」をクリックします。

■ 削除方法

リストから削除する項目を選択し「削除」をクリックします。



以上の操作実行後「更新」をクリックして作成・編集内容を保存します。



16 マスクデータ

この画面ではマスクデータの新規作成、編集、選択、削除をおこないます。

- フィットテストレポート画面でフィットテスト測定結果を展開している場合は編集できません。

各画面の「マスク」をクリックするとマスクデータ画面が開きます。

マスクデータ

ファイル選択

RTL_20180913143701.csv

新規データ

保存

ファイルの削除

新規ファイル

Fit Factor

製造者	型式	形状	判定基準
1	2	3	4
2	3	4	5
A	B	C	95
AAA	BBB	CCC	99

製造者

AAA

型式

BBB

形状

CCC

判定基準

99

認可

粒子径範囲

0.3 μm以上

データの削除

データ選択

閉じる

各機能の説明

「ファイル選択」	マスクデータの保存されているデータファイルの選択をおこないます。 「18-2 ファイル選択」参照
「新規ファイル」	マスクデータを保存するデータファイルを新規作成します。 「18-3 新規ファイル」参照
「ファイルの削除」	現在リスト表示しているデータファイルを削除します。 「18-4 ファイルの削除」参照
基準選択用 ドロップダウンリスト	判定基準で表示する基準値の換算方法を変更します。 「16-1 基準選択用ドロップダウンリスト」参照
「データ選択」	選択したデータを各画面に展開します。「18-5 データ選択」参照 ●表示されない場合があります。
「データの削除」	選択したデータをデータファイルの中から削除します。 「18-6 データの削除」参照
「新規データ」	データ入力欄がクリアされ、新規データを入力することができます。
「保存」	作成・編集したデータをデータファイルに保存します。

空欄部分にマスクデータを入力します。

各項目の入力をしたら「保存」をクリックすると入力内容が保存され、リストに表示されます。

新規データ

保存

製造者 AAA *

型式 BBB *

形状 CCC *

判定基準 100 *

認可 *

粒子径範囲 0.3 μm以上 *

製造者	* 必須項目
型式	* 必須項目
形状	* 必須項目
判定基準（数値のみ）	* 必須項目
認可	
粒子径範囲	* 必須項目

保存されているデータをリストから選択し、編集することもできます。

編集後に「保存」をクリックすると確認の表示がでます。

マスクデータ

ファイル選択 RTL_20180913143701.csv

新規データ

保存

製造者	型式	形状	判定基準
1	2	3	4
2	3	4	5
A	B	C	95
AAA	BBB	CCC	99

製造者 AAA *

型式 BBB *

形状 CCC *

判定基準 100 *

認可 *

粒子径範囲 0.3 μm以上 *

データの削除

閉じる

「OK」をクリックするとデータは上書きされます。

MT-05

上書きしてもよいですか？

OK キャンセル

16-1 基準選択用ドロップダウンリスト

ドロップダウンリストを変更することで判定基準に表示される数値が自動変換されて表示されます。数値の変換方法に関しては「MT-05U 取扱説明書（本体編）3-3 測定原理」をご確認ください。

The following table shows the 'Criteria' (判定基準) values for the 'Fit Factor' dropdown menu.

製造者	型式	形状	判定基準
1	2	3	4
2	3	4	5
A	B	C	95
AAA	BBB	CCC	99

The following table shows the 'Criteria' (判定基準) values for the 'Defense Coefficient' (防護係数) dropdown menu.

製造者	型式	形状	判定基準
1	2	3	4
2	3	4	5
A	B	C	95
AAA	BBB	CCC	99

The following table shows the 'Criteria' (判定基準) values for the 'Throughput' (漏れ率) dropdown menu.

製造者	型式	形状	判定基準(%)
1	2	3	25.00
2	3	4	20.00
A	B	C	1.05
AAA	BBB	CCC	1.01

17 プロトコル

この画面ではプロトコルの編集、選択をおこないます。

- フィットテストレポート画面から開いた場合は編集できません。

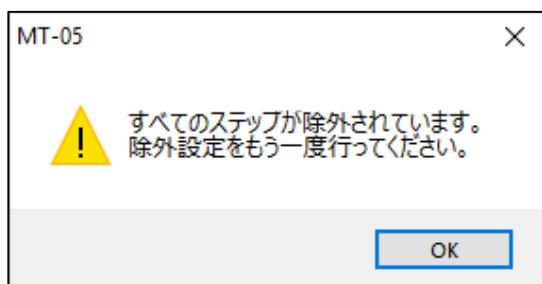
各画面の「プロトコル」をクリックするとプロトコルテーブル画面が開きます。

各機能の説明

プロトコル	プロトコル名をドロップダウンリストから選択します。 変更すると他の設定項目もそのプロトコルの設定に変更されます。設定したプロトコルが工場出荷時の内容から変更されている場合は『*』マークが付きます。
マスク内ページ時間	マスク内のページ時間を設定します。(10-99)
外側ページ時間	マスク外側のページ時間を設定します。(5-99)
外側測定時間	マスク外側の計数をおこなう時間を設定します。(3-99)
外側測定回数	測定結果の算出基準となるマスク外側の測定方法を設定します。 「各 1 回」： ステップごとにマスク内測定の前のマスク外側測定を算出の対象とします。 「各 2 回」： ステップごとにマスク内測定の前と後の 2 回のマスク外側測定を算出の対象とします。ステップの始まりと終わりとでは時間差が生じるため、より正確な測定をおこなうことができます。 「前後 1 回」： 全測定の最初と最後にマスク外側測定をおこない、間に全ステップのマスク内測定を連続しておこない、最初と最後のマスク外側測定を全ステップの測定結果の算出対象とします。短時間でフィットテストをおこなうことができます。
判定基準	判定基準をドロップダウンリストから選択します。
次回測定期限	次回の測定期限を設定します。(0-24)

[ステップ / 除外]	クリックすると「／」を表示します。「／」の表示になると、そのステップを測定結果平均値の算出対象から除外します。この際、測定時間がこのステップのために必要な最小の時間に足りない場合、自動で必要な測定時間に変更します（さらに変更して増やすことは可能です）。もう一度クリックすると「／」の表示は消えますが、変更された測定時間は元に戻りません。
動作	そのステップで被験者がおこなう動作を選択します。
マスク内測定時間	各ステップでのマスク内の計数をおこなう時間を設定します。（3-99）
合計時間	測定にかかる合計時間を表示します。設定中もその時に表示している設定内容の合計時間を表示します。
[プロトコルの初期化]	選択中のプロトコルの設定内容を工場出荷時の状態に戻して測定内容として設定します。
[更新]	編集したプロトコルを保存して、測定内容として設定します。

測定終了を除くすべてのステップを除外し [更新] をクリックすると確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックし設定の見直しをしてください。



- プロトコルの各項目、設定値は編集ができますが追加や名称変更はできません。

18 各データの選択・作成・編集

以下の操作は全画面で共通の操作です。

18-1 保存ファイル

各種測定は「保存ファイル」の横に表示されているファイルに自動保存されます。

保存ファイルは新規に作成しなくても本通信ソフトウェア初回起動時に作成されたファイルが初期表示され、そのファイルに保存されます。

初期のファイルの場所は以下のいずれかとなります。

PC の設定及び他の OS では各フォルダ名称が変わることがあります。

Windows (C:) ¥Documents and Settings¥All Users¥SST¥MT05¥DATA

Windows (C:) ¥ProgramData¥SST¥MT05¥DATA

Windows (C:) ¥Users¥All Users¥SST¥MT05¥DATA

どれも表示されない場合は、以下の操作をした後、再度フォルダの場所を確認してください。

Windows 7 の場合

エクスプローラを起動

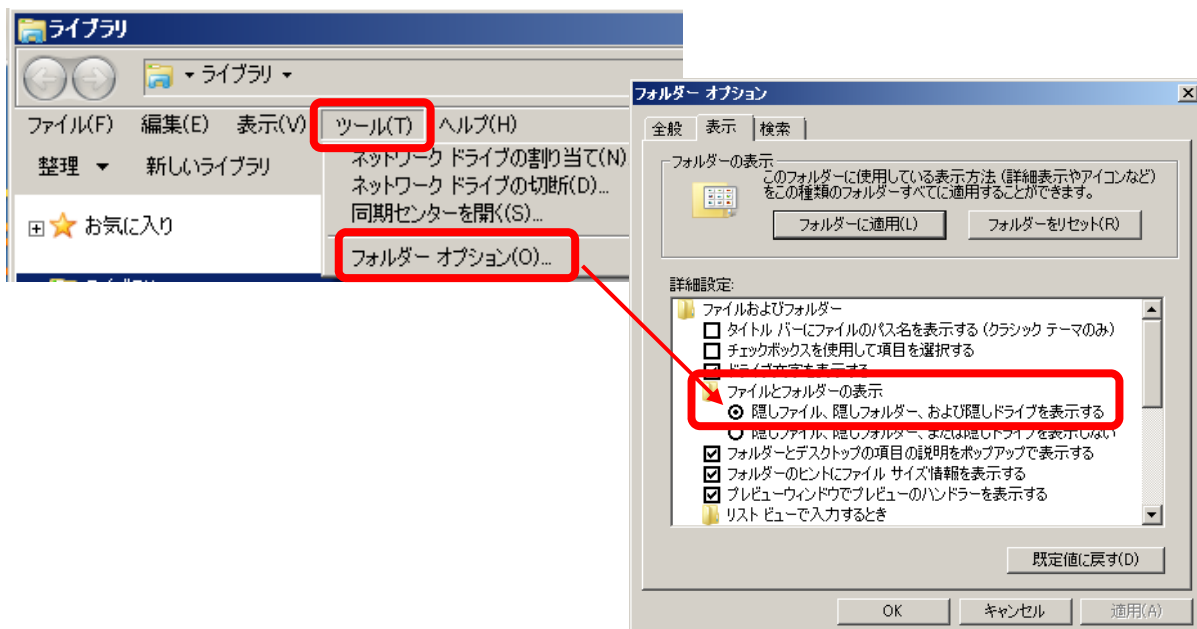
「ツール (T)」

→ 「フォルダーオプション (O)」

→ 「表示」タブ

→ 「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」を選択

→ 「OK」をクリック

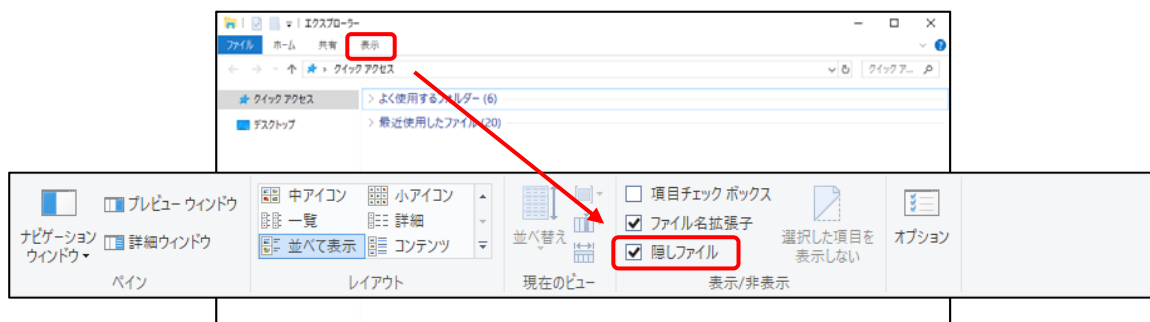


Windows 8.1, 10 の場合

エクスプローラを起動

「表示」

→「隠しファイル」にチェックを入れる



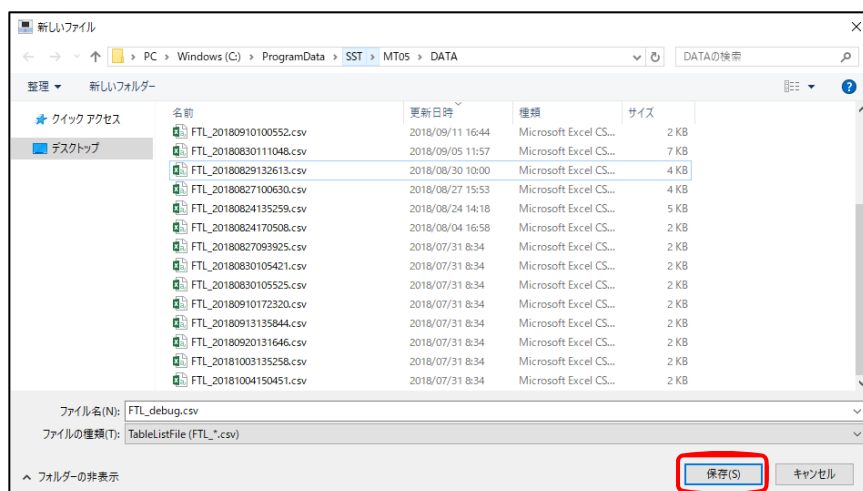
[保存ファイル]をクリックすることでデータを保存するデータファイルを変更することができます。
例としてフィットテストレポート画面で説明します。

[保存ファイル] をクリックします。

The screenshot shows the 'フィットテストレポート' (Fit Test Report) window. The '保存ファイル' (Save File) button is highlighted with a red box. The file name 'FTL_20181029184059.csv' is entered in the adjacent text field. Other fields include '被験者' (Subject) with fields for name, ID, company, location, and notes, and '測定結果' (Test Results) table.

Step	動作	FF	結果
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

ファイルを選択し [保存 (S)] をクリックすると画面に反映されます。



18-2 ファイル選択

各画面内でリストに表示するデータファイルの選択をおこないます。
例としてフィットテストデータ画面で説明します。

フィットテストレポート画面で[報告書選択]をクリックし、フィットテストデータ画面を開きます。

開かれたフィットテストデータ画面の[ファイル選択]をクリックします。

姓	名	ID番号	マスク	マスクサイズ	測定日
AAA	BBB	CCC	2 3 4 [5]		2018/12/10 10:26:01
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]		2018/12/10 10:26:01
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]		2018/12/07 13:13:45
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	aa	2018/12/08 16:25:11
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	M	2018/12/08 15:57:09
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	s	2018/11/27 14:08:07
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	d	2018/11/27 14:08:07
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	sda	2018/11/22 17:03:30
AAA	BBB	CCC	2 3 4 [5]	sa	2018/11/22 17:03:30
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	ss	2018/11/22 16:58:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:52:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:49:04
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:45:10
aaa	bbb	ccc	A, B, C [95]	a	2018/11/22 16:35:04

表示したいデータファイルを選択し[開く (O)]をクリックするとフィットテストデータ画面に戻り、選択したデータファイル内に保存されているデータがリストに表示されます。

18-3 新規ファイル

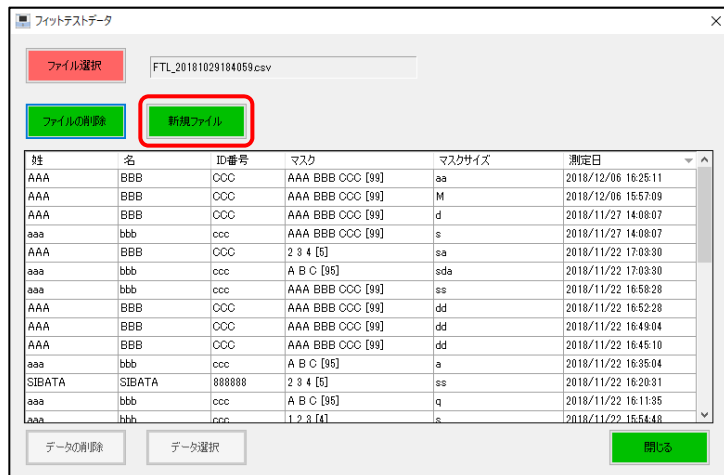
データファイルを新規に作成します。

本通信ソフトウェアで新規作成できるデータファイルの種類は以下のとおりです。

データ名	ファイル名頭文字	ファイル形式
フィットテスト測定結果データ	FTL_	FTL_*.csv
フィットテストロギングデータ	TLD_	TLD_*.csv
デیلیーチェック測定結果データ／ 取得済みデیلیーチェックロギングデータ	DCL_	DCL_*.csv
フィットチェック測定結果データ／ 取得済みフィットチェックロギングデータ	FCL_	FCL_*.csv
被験者データ	PTL_	PTL_*.csv
マスクデータ	RTL_	RTL_*.csv

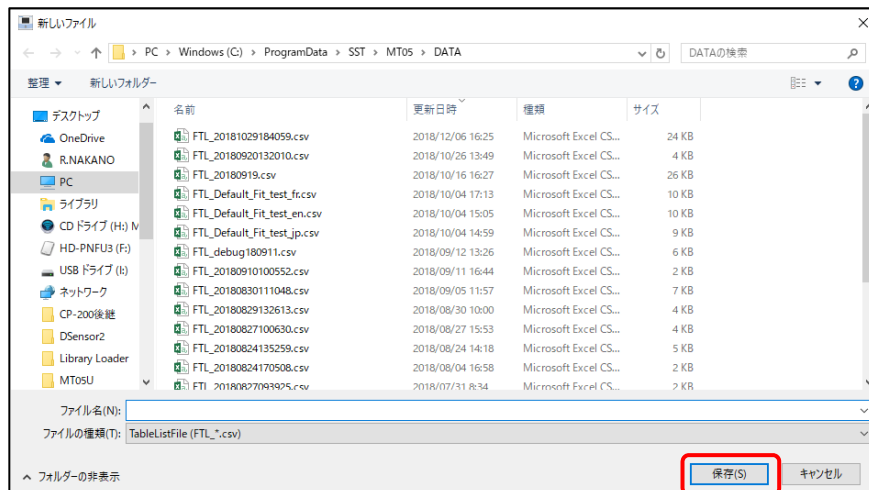
例としてフィットテストデータ画面で説明します。

「新規ファイル」をクリックします。



ファイル名を入力し、「保存 (S)」をクリックすると、フィットテストデータ画面に戻り、新規に作成したリストファイルが「ファイル選択」の横に表示され、編集が可能になります。

- 各ファイル名の頭文字は自動的に付けられます。



18-4 ファイルの削除

データファイルを削除します。

例としてフィットテストデータ画面で説明します。

「ファイルの削除」をクリックします。

姓	名	ID番号	マスク	マスクサイズ	測定日
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	aa	2018/12/06 16:25:11
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	M	2018/12/06 15:57:09
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	d	2018/11/27 14:08:07
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	s	2018/11/27 14:08:07
AAA	BBB	CCC	2 3 4 [5]	sa	2018/11/22 17:03:30
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	sda	2018/11/22 17:03:30
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	ss	2018/11/22 16:58:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:52:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:49:04
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:45:10
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	a	2018/11/22 16:35:04
SIBATA	SIBATA	888888	2 3 4 [5]	ss	2018/11/22 16:20:31
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	q	2018/11/22 16:11:35
aaa	bbb	ccc	1 2 3 [4]	s	2018/11/22 15:54:48

確認の表示が出るので「OK」をクリックすると、「ファイル選択」の横に表示されているデータファイルおよびリストに表示されている保存データが削除されます。

18-5 データ選択

データファイルからデータを選択し各画面に反映させます。

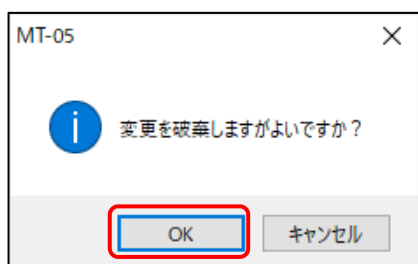
例としてフィットテストデータ画面で説明します。

リストの中からデータを選択し、「データ選択」をクリックします。

姓	名	ID番号	マスク	マスクサイズ	測定日
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	aa	2018/12/06 16:25:11
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	M	2018/12/06 15:57:09
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	d	2018/11/27 14:08:07
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	s	2018/11/27 14:08:07
AAA	BBB	CCC	2 3 4 [5]	sa	2018/11/22 17:03:30
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	sda	2018/11/22 17:03:30
aaa	bbb	ccc	AAA BBB CCC [99]	ss	2018/11/22 16:58:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:52:28
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:49:04
AAA	BBB	CCC	AAA BBB CCC [99]	dd	2018/11/22 16:45:10
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	a	2018/11/22 16:35:04
SIBATA	SIBATA	888888	2 3 4 [5]	ss	2018/11/22 16:20:31
aaa	bbb	ccc	A B C [95]	q	2018/11/22 16:11:35
aaa	bbb	ccc	1 2 3 [4]	s	2018/11/22 15:54:48

- 編集途中で未保存のデータが展開先にある場合は確認の表示がでます。

[OK] をクリックすると編集途中の内容が破棄され、選択したデータが展開されます。



18-6 データの削除

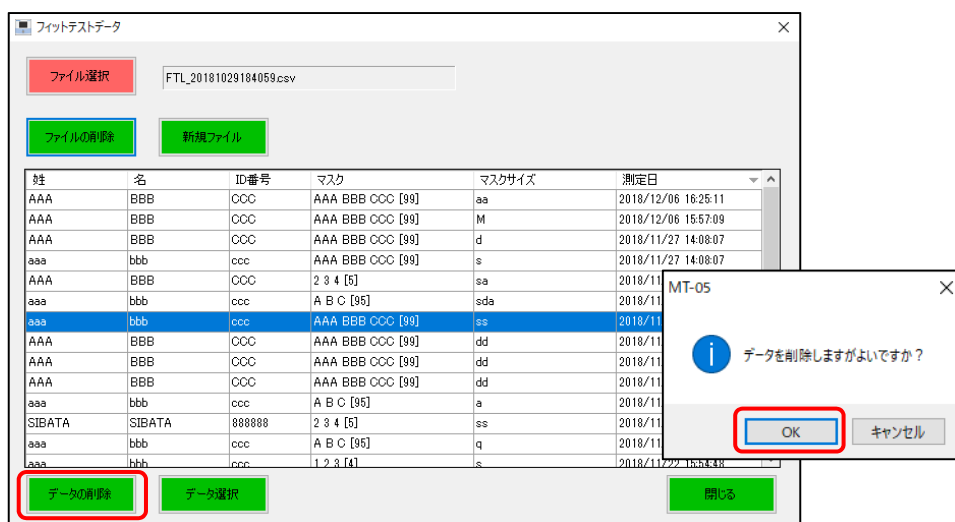
データファイルから選択したデータを削除します。

例としてフィットテストデータ画面で説明します。

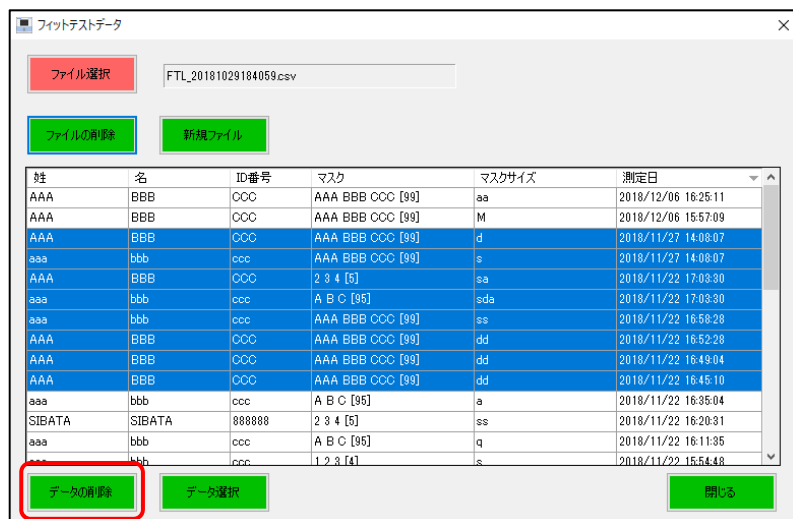
リストの中からデータを選択し、[データの削除] をクリックします。

クリックすると確認の表示がでます。

[OK] をクリックするとデータファイルから選択したデータが削除されます。



- 複数のデータを選択し削除することもできます。



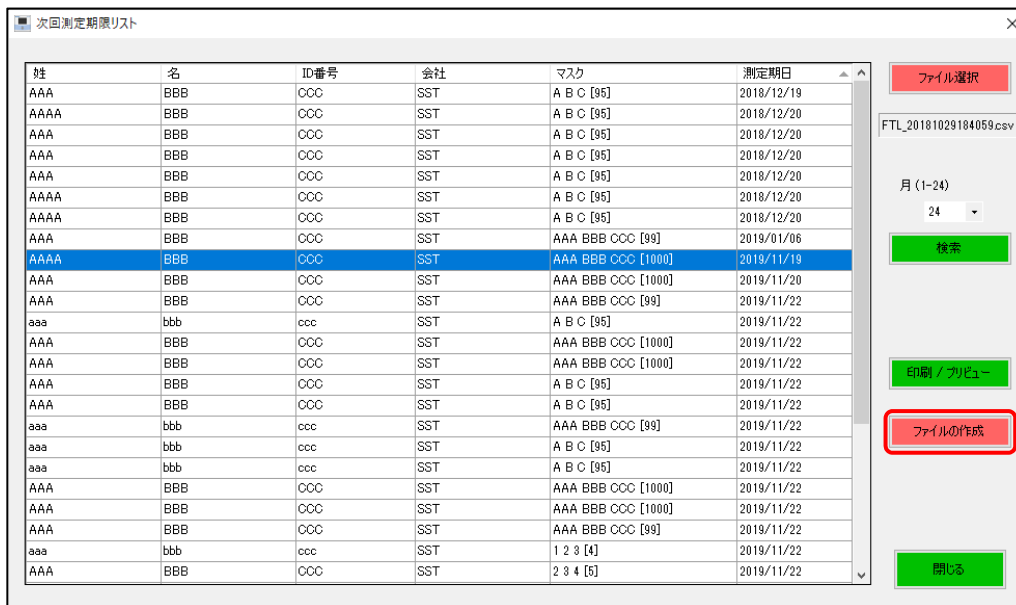
18-7 ファイル作成

リストに表示されている内容を新規ファイルとして作成します。
保存フォルダは以下のとおりです。

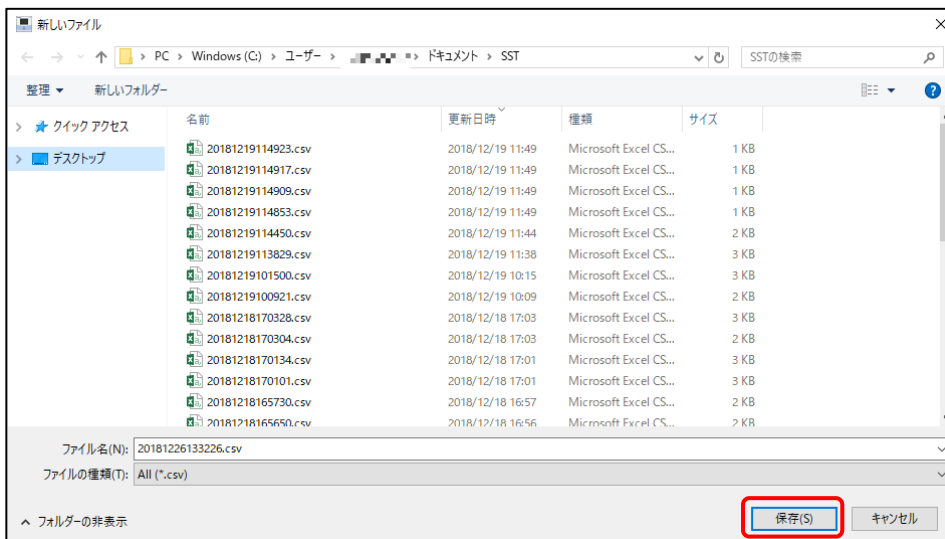
Windows (C:) ¥Users¥ユーザー名¥Documents¥SST

例として次回測定期限リスト画面で説明します。

[ファイルの作成] をクリックします。



ファイル名を入力し [保存 (S)] をクリックします。



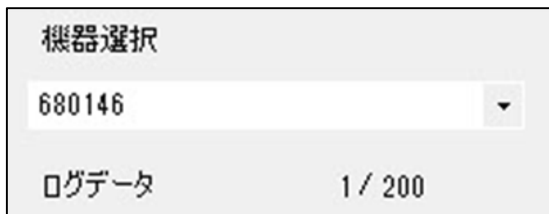
- ファイル名は最初に [ファイルの作成] をクリックした時刻が入力されています。

19 ログデータについて

本体のロギングデータの全取得・全消去をおこないます。
以下の操作はフィットテストログデータ画面で説明します。

19-1 ログデータ

機器選択欄のドロップダウンリストで選択されている MT-05U に保存しているロギングデータの数量を表示します。



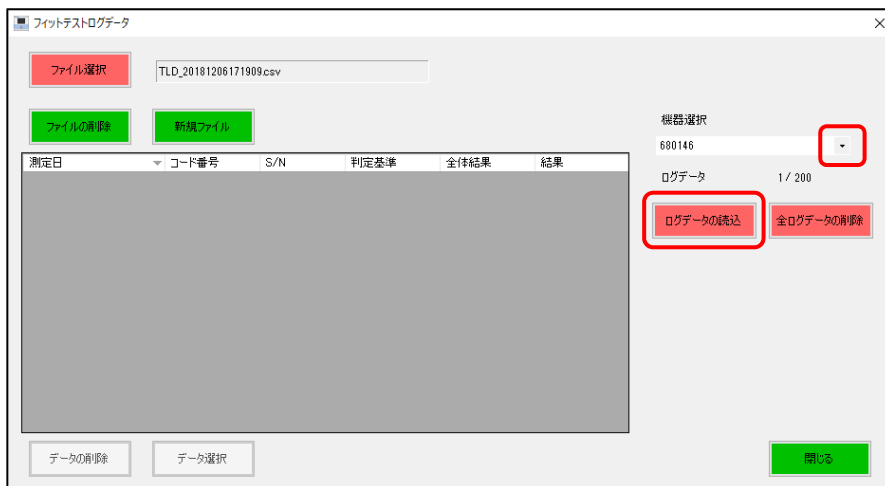
保存数 / 保存最大数

19-2 ログデータの読込

MT-05U に保存しているロギングデータを一括取得し、取得したデータを［ファイル選択］で選択したファイルに保存します。

機器選択欄のドロップダウンリストの中から処理をおこなう機体を選択します。

［ログデータの読込］をクリックすると、選択された MT-05U からフィットテストロギングデータが一括取得されます（取得中は［ログデータ読込］は赤色になります）。



取得されたロギングデータは選択されているファイルに追加保存され、リストに表示されます。

19-3 全ログデータの削除

MT-05U 本体に保存しているロギングデータを「全消去」します。

フィットテストログデータ画面からはフィットテストのログデータの消去がおこなえます。

[全ログデータの削除] をクリックします。

確認の表示が出るので [OK] をクリックすると、フィットテストロギングデータは「全消去」されます。

- PC に保存されているデータは消えません。

⚠ 注意

万一、何らかの不具合が発生した場合でも、データの取得および記録ができなかった内容の補償、データなどの内容の損失、およびこれらに関わるその他直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。故障に備えて定期的に通信ソフトウェアでデータのバックアップをおこなってください。

20 印刷

[印刷 / プレビュー]が表示されるものは表示されているリスト・報告書を印刷することができます。

- フィットテストレポート・各種リストの印刷は A4 サイズ（210mm×297mm）を基準としています。
- フィットテストカードの印刷はカードサイズ（86mm×54mm）を基準としています。

20-1 レポート印刷設定

印刷の設定をおこないます。
メニューバーの [設定] から [レポート印刷設定] をクリックすると、レポート印刷設定画面が開きます。

各項目にチェックまたは会社名を入力します。

レポート印刷設定

☒ フィットテストレポートにサイン欄を表示する。

☒ フィットテストレポートにカードを表示する。

フィットテストカードに記載する会社名(半角60文字以内)
(Company name on fit test card)

更新

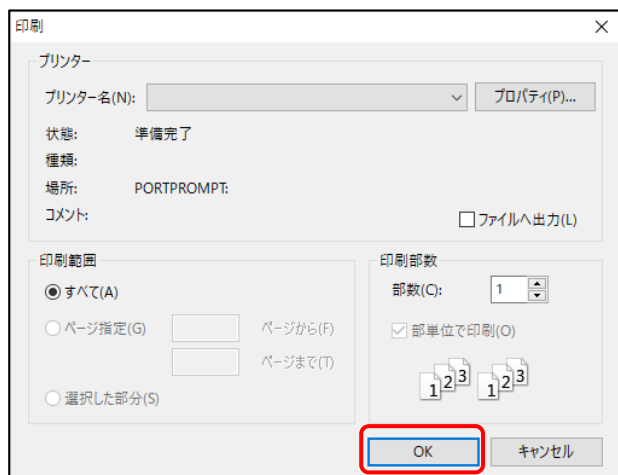
閉じる

各機能の説明

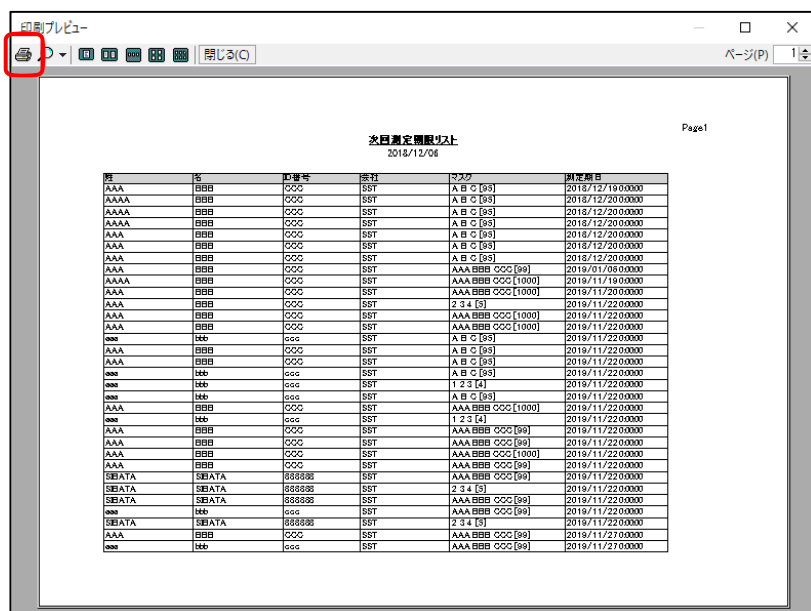
フィットテストレポートにサイン欄を表示する。	フィットテストレポートにサイン記入欄を表示します。
フィットテストレポートにカードを表示する。	フィットテストレポートの下側にフィットテストカードを表示します。
フィットテストカードに記載する会社名 (半角 60 文字以内)	フィットテストカードの一番下に表示する会社名を入力します。
[更新]	チェック・入力の内容を保存します。

20-2 印刷方法

各画面で「印刷 / プレビュー」をクリックするとプリンター選択画面が表示されます。
プリンター選択後、「OK」をクリックすると印刷プレビュー画面が表示されます。



プレビュー確認後、「印刷」をクリックすると印刷をおこないます。



21 トラブルシューティング

本製品をご使用中に異常が発生したら、すみやかに使用を中止してください。
 異常の原因が MT-05U 本体の故障のときは、再度使用せずに修理を依頼してください。
 場合によって、故障以外の原因が発生していることもあります。
 修理をご依頼になる前に、以下の点についてご確認ください。

症 状	原 因	処 置
本通信ソフトウェア、USB Driver がインストールできない。	インストーラが自動起動しない。	ディスク内の「install.exe」を起動してください。
本通信ソフトウェアが起動しない。	本通信ソフトウェアが正常にインストールされていない。	アンインストール後、再度インストールしてください。
MT-05U と PC の通信ができない。	USB が認識されていない。	MT-05U の電源が ON の状態で USB ケーブルを再接続してください。
		デバイスマネージャー内のポートで MT-05U が表示されない場合は、USB Driver のインストールまたは更新をおこなってください。
本通信ソフトウェアが操作できなくなった。	MT-05U と PC の通信が途絶えた。	USB ケーブルを抜き差しして、再接続してください。
		「8 接続」で接続をし直してください。
		MT-05U の電源を一度入れ直してください。
		本通信ソフトウェアを再起動してください。
画面の文字が見切れる。	文字サイズの設定が大きい。	画面上の文字サイズを 100% にしてください。

22 保証と修理など

■ 保証書について

本製品には、保証書を同梱しています。ご購入時に記載内容をご確認のうえ、所定事項をご記入ください。保証期間はご購入日より1年間です。保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

■ 保証期間内の修理は

保証期間内の修理は、お買い上げ販売店または当社にご相談ください。
次の故障内容の場合は保証対象外となります。

- 使用方法の誤りによる故障および損傷
- 当社以外での修理・改造による故障および損傷
- 火災・地震・天災などの不可抗力による故障および損傷
- お買い上げ後の転送・移動・落下・振動などによる故障および損傷
- 当社指定以外の消耗品類に起因する故障および損傷

■ 保証期間終了後の修理は

保証期間終了後の修理については、お買い上げ販売店または当社にご相談ください。修理によって機能が維持でき、補修部品の確保が可能な場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

■ 製品の廃棄

製品を廃棄する際は、廃棄物及び清掃に関する法律に従って適切に処理してください。

■ お問い合わせは

本製品につきまして、ご不明な点、ご用命などがございましたら、お手数ですが、お買い上げ販売店または当社までお問い合わせください。

免責事項

本製品を使用中、万一何らかの不具合によって、データの取得および記録がされなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。

また、当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、補償していません。修理その他当社へのご依頼時は、必要なデータのバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）

 0120-228-766 FAX 048-933-1590

フリーダイヤル

<http://www.sibata.co.jp>

注）改良のため形状、寸法、仕様などを機能、用途に差し支えない範囲で変更する場合があります。